京城日報

本紙定價 一箇月金七十五錢 ……
發行兼編輯人 奥田 ……　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

一月十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇講和會議順序 超國家的權力の組織

某所着電＝講和會議の順序に關し一月五日倫敦タイムス特派員が巴里より打電せる要旨左の如し（東京特電）

第一、實際的國際聯盟組織を第一に議し正式に決定したる時特別委員を設け重なる國の講和委員の國際聯盟問題主任者主唱の下に超國家的權力の組織を爲すこととなるべし

第二、戰爭中に於ける各種聯合國の指導機關たる前記超國家的組織の基礎となるべき財政經濟部門の有力なる聯合國委員を加ふべし

第三、國際聯盟以外の會議は根本主義を議し領土問題及び政治上各般の特別問題を決定すべく又會議にて運命を決定すべき未開半開民種に對しては其行政上の支配權を暫く國際聯盟委員に依り特定の國家是を行ふべし

第四、會議中は成るべく言論を少くすべし

□聖上御弔電

米國前大統領ルーズベルト氏逝去に就き畏き邊より八日御弔電を御發送あらせられたるが這は氏が生前ポーツマウス條約に際し盡瘁せる功勞を思召されたるならんと拜察さる（東京特電）

◇獨帝國復興計畫 南獨四聯邦政府決議

某所着電＝巴威、オルレンブルグ、ハーゼ、ヘッセの南獨逸四聯邦政府代表者は十二月下旬スチエッガルトに會合し是等聯邦を基礎とする獨逸帝國復興に協力すべき決議を爲せり又伯林現內閣にては缺員を充す爲め巴威國政府部員に入閣を勸めたるも之を拒絕したるが要するに聯邦政府の大部分は伯林政府反對の意を有するもの如し（東京特電）

◇伯林無政府狀態 獨立社會黨員の憤慨

某所着電＝獨逸政府は獨立社會黨員にして革命以來伯林の警視總監たるアイヒホルンを免職せり其理由は海軍兵事件以來職權を濫用して政府に不利益の處置を執れりと謂ふにあり之が爲め獨立社會黨員の憤慨一方ならずスパルタカス一派と聯合して政府反對の運動を開始する事となり五日伯林のシーグネザールに兩派主唱の市民大會を開き政府顚覆國民會議取止めを宣言し夫より市內に示威行列を行ひ警[illegible]の爲め[illegible]せし政府側の軍隊と各所に衝突を起し五、六兩日伯林は無政府狀態に陷り混亂を極めたり（東京特電）

◇オムスク政府變動

浦鹽にて傳へらるるところに依ればオムスク政府の變動近しとの事なり尤も幵は政府員の變動にて政策の變動に非ざる可く目下デニキン將軍と共に高加索に在るサゾノフはコルチャック政府の現外相引退の後を受けて之れに代る可しと（浦鹽電報）

◇過激軍進擊開始

某所着電＝露國西部エストニア、リヴオニア、クールランド等に於ては獨逸軍撤退と共に露國過激派軍は右諸州に進擊を開始しリヴァール及びリガは之が爲め大なる脅威を感ずるに至れり而して豫て同地方の懇請に依りリヴァール港に在りし英艦隊は結氷の爲め引揚ぐるの止むなきに至りし結果過激派は益々暴威を逞しうするに至り又ウイルナ地方に於て過激派軍は獨逸軍の撤退に追隨しつつ其先頭は十二月末ウイルナ市に侵入せり（東京特電）

◇竹下中將弔意

牧野講和委員一行中の竹下中將はルーズベルト氏の逝去に對し弔意を表する爲め七日オイスターベーに赴けり（桑港電報）

◇原首相參內

原首相は九日午前十時二十分參內折柄參內中の西園寺侯と會見重要事項に就き協議する所ありたり（東京特電）

□進講題目

宮內省公表＝九日午前十時御講書始進講題目左の如し（東京特電）

洋書 『ステルドクランジチヨ、古代都市論中祭祀と政治、法律の關係』 法學博士男爵 穗積陳重

國書 『日本書紀第二十九天武天皇十四年春正月より『各有差』に至る爵位制度改正の一節』 文學博士 松本愛重

漢書 易經觀卦『觀者盥而不薦有孚顒若』 正五位 土屋弘

◇園侯御暇乞

西園寺侯は九日午前十時隨員一同を帶同して宮中賢所參拜祈納 天皇陛下には御講書始めの爲め鳳凰間に出御あらせられたるを以て參內中の原首相と用談を遂げたる後陛下に拜謁仰付けられ 天機奉伺の上御暇乞ひを言上したるに陛下より優渥なる御沙汰を賜ひ尚ほ隨員一同にも拜謁仰付けられ終つて皇后陛下の御機嫌を奉伺し正午千種間に於て御陪食仰付けられたり（東京特電）

◇昨年受入正貨

本年は五億五千萬圓

昨年中我國の受入勘定となりたる正貨高は貿易出超に依るもの二億九千萬圓貿易以外に受け入るゝものを合して九億圓に達せるが本年は貿易出超によりするもの約五千萬圓、貿易以外の受け入五億圓合計五億五千萬圓內外に達する見込なりと云へば貿易の趨勢が著しき變化を見ざる限り爲替調節問題は依然政府及び爲替銀行當局の考慮問題たるべし（東京特電）

◇片山氏辭表提出

戰時保險局長兼米穀管理部長片山義勝氏は病氣の故を以て辭表を提出せり（東京特電）

◇廣瀨主計監 近衞師團に轉任か

近衞師團經理部長前川主計監は滿蒙毛織會社專務に決定せるより一兩日中豫備役に編入され後任として朝鮮軍經理部長主計監廣瀨正德

◎總督東上期

長谷川總督は來る二十五日東京に於て御擧式の李王世子垠殿下と梨本方子女王殿下との御婚儀に參列の爲め來る十六日東上の途に就く豫定なり

◎政務總監東上期

山縣政務總監は政府委員として今期議會に出席の爲め來月十日頃京城出發東上すべし

◎定例長官會議

十日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督以下各部長官局長出席重要政務に就き審議する處ありたり

◎辭令 十二月二十六日附

左の通り陞進の辭令ありたり

總督府技師 森賓太郎
總督府事務官 小田省吾
府勅任技師 高見長恒

陞敍高等官一等
朝鮮總督府道事務官 吉松憲郎
總督府道事務官 岡今朝雄
總督府事務官 生田清三郎
總督府事務官 弓削幸太郎
陞敍總督府技師正六位 內村安太郎
總督府道技師 岩井長三郎
總督府通信事務官 服部正一郎

陞敍高等官三等
總督府道慈惠醫院長 佐藤政次郎
總督府道慈惠醫院醫長 鑛川亨
總督府道慈惠醫院醫長 藤井班象
總督府道技師 淺原義雄
總督府事務官 池田泰治郎
總督府技師 谷多喜磨
總督府事務官 工藤壯平
總督府技師 秋田義彰
總督府道慈惠醫院醫長 岩崎貞雄
總督府稅關長 吉村謙一郎
總督府事務官 田中卯三
總督府典獄 時永浦三
三井久陽

陞敍高等官四等
總督府通信事務官 市橋力
總督府道慈惠醫院醫官 蠑名林德田
總督府警視 黃信泰
總督府技師 八島明
菊池爲行
神田浦一

陞敍高等官五等
樋重雄
松元龍雄
金江龍雄
茶谷榮治郎
小泉昇平
北村健吉
穗積眞六郎
橋本房一
海福紀一
新田隆平
澤崎修
矢島杉造
東田寛猛
中村粲職
林
倉橋武男
藤沼重一
富士岡重一
河野榮太郎
（以下朝刊へ續く）

◎清津築港問題 吉會線の好望と築港の急施

清津築港急に關する理由に付四元商議所頭及び西村氏は交々語る

清津築港の問題は多年吾等の唱道を續けてる所である、而も尙ほその解決の曙光を見るに至らぬのは實に遺憾に堪へぬ、然し乍ら北滿洲並に北鮮に於ける刻下の大勢はこうしても

▲清津築港 の急設を實に喫緊の問題となすに至つた、乃ち清津會寧間の鐵道約六十哩は一昨年の秋既に全通してゐる、日本海の橫斷航路たる清津敦賀線は昨年の四月から開航してゐる、間島輕鐵として傳へらるゝ大圖們輕鐵會寧龍井村間の輕鐵も近く敷設に着手する事となつてゐる、間島並に咸北の特產物たる穀類や琿春材の出貨は非常の增加であつて、現に昨年の沿岸對外通貨三貿易を合した數字は一千五百萬圓に上り之れをその前年に比すると約五割弱の增となつた、近く間島輕鐵の營業を見る事にならばその激增は期して待つべしである、以上の事情のみならば北鮮並に間島と云ふ地方的のものかも知れぬ然し乍ら昨年六月

▲豫備契約 を吾が鮮銀興銀臺銀の三行と支那政府との間に締結し既に一千萬圓の前渡金をやつた吉會鐵道は目下本契約の交涉中であるがその調印を見るは遠からざるべく而して調印は終り契約成れば工事は極めて迅速に行はれ恐らく今後五箇年にして北滿洲と北朝鮮の連繫は必らず成るべしとは總督府の主腦者も豫言して居られる果して然らば我清津の築港を政府は一體如何に見られてゐるのであるか現在の如く搬運貨物が增加してさへ既に清津港灣の不備は荷役に不便を感ずる事少くない況んや吉會線全通し北滿貨物の幾部分が我清津港に於て吞吐せらるゝ事となつた場合清津港を今日の儘に放置しては所謂佛作つて魂入れずの類と云ふも過言でなく正に

▲畵龍點睛 を缺ぐのである、成程清津の港灣は水深比類少い程深く灣口東南に廣大にして而して風波を受くる事烈しきため築港工事は非常に困難であるらしいが少くも二千萬圓や三千萬圓の費用を投ぜねば千萬圓以下の小さい金では多くの効用はあるまい、吾等はその築港を港口に大防波堤を築き內部に繫船壁や棧橋を設くるやうな方法によつて欲しいとか若しくは閘門式によりたいとかを希望するものでないその邊の所は政府の技術家に一任する然し乍ら要するに吉會線全通後恥かしからぬ港灣として立つて行きたいそれだけの施設を當局に求むるのである、尤も二千萬圓と云ひ三千萬圓と云ふ巨費は之を五箇年繼續とするも

▲年額四百萬圓 若くば六百萬圓を要する譯で獨立匆々の朝鮮總督府にのみ清津築港のため之れを求むるのは或は無理かも知れぬ、これ予等が一方總督府の當路に望み一方帝國議會に建議し母國財政の援助を受けんとする所以である、吉會線全通後は清津は朝鮮の清津でなく東洋の清津たるべし、乃ち母國財政の援助を受くるは當然ならん、予等は此行必ず好望の曙光を見ずんば歸らずの決心を以て發して來た

◎歸還兵輸送方 小部隊に分割

西伯利派遣部隊の一部は愈々近々歸還する事となり其の輸送に就き滿鐵より貝瀨運輸課長長春に出張し同地にて關東陸軍臨時運輸司令部と打合せをしたるが歸還部隊は第十二師團の分を除く他の特科豫後備兵約一萬二千餘名にして引揚に就ては陸軍側の希望として成るべく同時に短時日を以て輸送を終了せんことを望み居るも滿鐵側としては目下車輛著しく不足を告げ普通貨物の運輸にも多大の支障を生じ居るに加へて目下沿線各地は特產物出廻り盛期の事とて車輛の拂底其極に達し到る處堆貨の山に苦しみ居る有樣なるを以て悉く陸軍側の要求を容るゝとすれば特產界に一大打擊を與ふる事となるべく到底事情許さゞるものあり其の方法に付き陸軍當局と屢次交涉の結果成るべく小部隊に分割し長期間に輸送する事となりたるが陸軍側にても事情止むを得ず小部隊を毎日一二回宛輸送する事となり猶馬匹は大部分奉天にて競賣に附すべしと（大連）

◎客臘貿易

累計三億一千六百萬圓

十二月中の朝鮮貿易額は輸移出二千四百六十七萬餘圓輸移入一千九百八十五萬餘圓合計四千四百五十二萬餘圓にして前年同月に比し輸移出一千四百九十萬餘圓輸移入七百八十八萬餘圓合計二千二百七十九萬餘圓を激增せり而して一月以降累計額は輸移出一億五千五百九十萬餘圓輸移入一億六千三十九萬餘圓合計三億一千六百三十萬餘圓にして

▲前年に比し 增加せること輸移出七千九百十三萬餘圓輸移入五千六百二十九萬餘圓合計一億二千七百二十三萬餘圓に達し且前年に於ては入超一千九百十四萬餘圓を算したりしも本年は四百四十九萬圓に減退し之に地金銀を加算するときは前年の九百六十五萬餘圓の入超に反し百十五萬餘圓の出超を呈せり次に本月貿易の內容に就き前年同月に比較觀察すれば輸移出品中米は中旬以降各港同時に增加したるを以て下半月の內地移出頗る殷盛を呈し數量十三萬餘石價格七百三十萬餘圓を增し大豆は主として市價騰貴に依り三十一萬餘圓の

▲膨脹を示し 其の他豆類は前年僅に十萬餘圓に過ぎざりしも本年咸鏡北道に於ける輸出向大豆の生產著しく增加し取引活況を呈したる結果一躍百四十二萬圓を算し其他魚類百十九萬餘圓煙草四十四萬餘圓の增大を示し殊に前年皆無なりし鐵及軟鋼は四百二萬餘圓を計上し人蔘、鋼、金礦、重石礦、含金銀粗銅、石炭、生牛、肥料等亦孰れも相應の增進を呈し減退貨物としては棉花百九萬餘圓の減少を最とし黑鉛銅塊及び錠の減數點に過ぎざるなり輸移入品にありては諸器械の入荷引續き殷盛にして增加額百八十六萬餘圓に上り石炭四十一萬餘圓軌條及同附屬品十萬餘圓熟鐵

▲九萬餘圓を 增加せるは何れも事業界の依然好調にあるを語れるものと謂ふ可く翻つて生活資料の方面を觀ふに石油綿絲綿布生金巾綿縮子類等は各生產國に於ける供給不足に基づき尙不振を免れず唯僅かに生金巾類の增加九十七萬餘圓を初めとし日本木綿三十四萬餘圓縞綿及び打綿二十萬餘圓砂糖十九萬餘圓燐寸十二萬餘圓山包郵便物（主として絹布）四十四萬餘圓を增加せる等輸移出貿易の盛況並に一般好景氣の反映たるべく其他米及粟は鮮米市價の昂騰に因り二十八萬餘圓を食塩は地方漁業用としての需要及び露領方面に對する供給の增加に伴ひ十二萬餘圓の入附を示し紙類叺繩及筵等の諸品亦槪ね盛況を呈せり

◎府豫算編成

京城府にては目下大正八年度府豫算及び學校組合の豫算編成中なるが時局の影響に因る物價の昂騰諸材料の價格不落は引いて歲出の膨脹に伴ふべき歲入の增大を誘致するに至らず著しく當事者をして苦心を來しつゝあるが遲くも本月末若しくは來月上旬中には編成を終了すべく道の內認可を得て府協議會若しくは學校組合會を開き決定の上は夫々監督官廳に提出し其認可を受くるに至るべし

◎京管分課變更

滿鐵京城管理局にては今回同局分課規程中一部の改正を爲したるが今其內容を聞くに從來の庶務課は其名義を變更し秘書室と改稱し而して令秘書室に在りては社員の進退賞罰共濟訓練並に紀律に關する事項等の事務のみを分掌する事となり而して從來庶務課に於て分掌せる文書の受授整理及び保存に關する事項調査及び統計に關する事項其他の事務は全部經理課に於て引繼ぎ分掌する事となりたり

▲人事異動

右の結果庶務課長心得若曾根當五氏は秘書室主任となり庶務課機密主任伊東四郎氏は秘書室附又經理課長心得大內要氏は經理課長に陞れり

◎蘭貢米輸入問題 高野三井支店長談

蘭貢米の輸出解禁に就ては報道區々なるが予の手許に達したる諸報を綜合するに『解禁に就ては外務省に未だ何等の公報來らず然し乍ら外務當局は蘭貢米の解禁に對し確信を以て交涉を續け居るもの如し從つて內地の米穀市場は解禁を氣構へ取引に警戒を加へつゝあるものに似たり京阪の米穀定期市場の安保合は因を茲に發せるらし唯若し解禁不能なる事明白とならばその若干程度の反撥は免れ難し』と云ふにあり恐らく右の觀察は當らずと雖も遠からざる所なるべし思ふに蘭貢米の輸出餘力並に既往に於けるその輸出先の十餘國に上り居れる事實中歐諸邦に於ける食糧の不足とその補給問題その他各種の事情より考ふるに此際無制限の解禁は到底不可能なるべく特許若くは振當ての決定を見るに至る時期も講和會議決着の前後に至らざれば目鼻を附し難きに非ざるか

◎市中金融緩漫

新春に於ける市中金融は極めて緩漫の狀態にあり金利は弱含みに推移し各銀行に於て放資せる資金の回收頗る順調なるに似たり現に八日開店したる韓一銀行南大門支店の如きは第一日並に第二日に於て二十三萬圓の預金を得たりと云ふ一事に見るも商人手許の逼迫し居らざるを知り得べし

◎清津築港運動

清津商業會議所會頭四元嘉平次並に北鮮日報社長岡本常次郎の兩氏は清津築港の急設を當路に向つて運動するため同府民を代表して八日入城九日長谷川總督以下主要官憲を歷訪縷々陳情し近く東上議會に建議案を提出し極力問題の解決に努力すべしと

◎學校組合許可

豫て申請中の慶尚南道河東郡橫川面如意里に猶川學校組合設置の件は一月九日附を以て許可せられたり

◎商議定時總會

京城商業會議所にては來る二十日頃定時評議員總會を開き大正八年度豫算其他に關する協議を爲すべしと

◎商議評議員會

京城商業會議所にては九日午後二時より臨時評議員會を開き豫て確定せる府公會堂兼用同所事務所新營に關し其の建築工事方法に就き之を請負とするや否や等種々打合せする所ありたり

◎產業組合展覽會

京畿產業組合中央會鳥取支會に於て來る二月十三日より五日間鳥取縣廳に於て產業組合資料展覽會開催に付き總督府へも出品方照會あり商工課に於ては目下右出品方に就き其の向へ交涉中なり

◎稅告知書發送

京城府稅務係にては十日附納稅告知書を以て學校組合費第四期分戶別割告知書約一萬七千通を發送したるが此の稅額約四萬八千圓納期限は一月末日なりと

◎鮮鐵附帶營業

昨年十二月中に於ける鮮鐵附帶營業收入は旅館二萬一千八百九十七圓食堂車七千六百二十一圓喫茶店八百十九圓合計四千三百十七圓を算し前年同期に比較すれば喫茶店收入を除き何れも增加を示せりと

◎鐵道運帶驛追加

朝鮮線對鐵道線旅客及び手荷物運帶驛に[illegible]驛を追加し廿一日より實施す可しと

◎內山武官動靜

荒多西伯利出征軍慰問を兼ね一般狀況視察の爲め派遣せられたる侍從武官長內山小二郎大將一行は來る十六日哈爾賓より長春着十八日旅順都督府に入る筈なり（大連）

◎新義州懇話會

新義州懇話會員は恒例により相互の新年宴會を廢する意味に於て十一日午後六時より第二線新館に於て新年宴會を開催する由なるが會費金五圓なりと

□鎌倉より

鎌倉海濱ホテルに逗留中なる石塚東拓總裁より加藤本社長にあて、左の元日試作を

梅と吹き櫻と散りて後の世に名も高砂と謡ふ今朝かな

八面鋒

◇國侯離宮の主人を作り、二十人前の食器を用意し、歐洲の花の都なる巴里の眞中に於て、高野豆腐椎茸刺身なんどの日本料理を、各國の委員に振舞はんとは面白し。

◇實際日本料理の上品にして、眼に宜しく、鼻に宜しく、舌に宜しきは、嚴々しき西洋料理に比ぶれば、殿樣と百姓ほどの差あり、又其食ひ方に就いても、ホークやスプーンやナイフなどをガチヤノ＼振り廻す殺風景を演ずるの必要もなく、優美な二本の箸のみにて、總てが埒明く。

◇風味の淡泊なる、是れも日本の國民性を代表して遺憾なし、日本を理解せず、日本人を諒解せぬ歐米人も、一度日本料理に向ふならば、ア、成程と合點すべし、是れ何よりも實際的教育なり。

◇露國の過激派が、獨逸に大學標道を試みんとし、伯林に一大恐慌を與へたりとは頗る皮肉なる御話なり、過激派ならぬ露國人も是にて多少溜飮が下る譯なるもかういふ惡魔に魅入られたる獨逸こそ泣き面に蜂といふべし

◇イヤ過激思想は元來獨逸の產物にして、露國に於いて發達を遂げたるもの、爾に出づるものは爾に返る、天理の循環はかういふことにも現はれて、そゝ恐ろし

資本金參百萬圓（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城南大門通二丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇二番 振替口座京城二五一番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京
出張所所在地 鍾路、東幕

謹賀新年
雲井染御紋附地
外村市郎兵衛
京都四條烏丸東

電話番號變更廣告
▲二三九四番（商事專用）
▲一四九〇番（鐵道貨物積卸）南大門驛構內
本町三ノ二〇
多田商會京城支店

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衛生無害
白鶴
釀造元 嘉納合名會社 攝津國御影町
發賣元 前田酒店 京城本町二丁目廿番地 電話一三七番 振替口座四二五番

謹告
謹啓每々格別の御引立を蒙り難有御禮申上候陳者吾等同業有志者昨年より每月一日を休業日と定め居り候處今回都合に依り每月十五日と改め本月より實行可致候條左樣御承知被下度候
先づは右御通知に代へ廣告候也
大正八年一月

京城金物商（イロハ順）
井原金物店
橋口金物店
堀田又京城支店
德本京城支店
釘本商店
益永金物店
福田又京城支店
近藤金物店
佐野彥商店
佐藤金物店
南方商店
白神京城支店
毛利金物店

時間表

大正七年七月一日改正現行

王世子殿下の御英姿

（觀兵式擧行當日の撮影）

◎背廣の御微行姿で 極秘の裡に御出發

東伏見宮、御渡英當時の御模樣

今日となれば最早差支も無からう東伏見宮殿下が御出發の折の極秘の御模樣、それを今記せば、宮中にて御送別の宴があり隨員以下一行殘らず

▽大禮服で 賢所へ告別の參拜が行はれ、昨秋の九月二十六日午後二時御一行は伏見丸で横濱港から御出發に相成られた、井上侯以下隨員の面々は、態と目立たぬやう各自任意に横濱に向ひ、既に二十五日に行つて

▽お待ちして居る者もあつた、此日宮殿下に從ひ參らせて宮邸を出發したのは、僅かに高松事務官一人だけであるこの事、そもて此の日は漸く寒く空さへ曇つてゐた、此間宮相を始め加藤海相加藤高明子なども奉送の爲め參邸したが、態と何ぐ歸つて行つた、斯くて殿下御立ちの際は玄關に

▽妃殿下の 奉送になつただ外、家職の面々と御親緣の岩倉家一門の方々が奉送した丈けであつた、殿下にはお忍びの姿故、態と茶縞の御背廣服に同じ色の中折を眼深く召し、細身の洋杖を手にし給ひ、側らには御手廻りのトランク二個を置かせられ

▽無言の儘 自動車に打ち乘らせ給ふ、自動車は宮邸のものにあらずして無紋の貸自動車、續いて高橋事務官は之れも粗末な貸自動車に乘り殿下の自動車を先に葵町の御邸から直に横濱へと向つた、高松事務官夫人以下奥仕への人々は御門外で目送し奉つた斯て宮殿下は本邦出發、米國にては以前久邇宮殿下が、獨逸にて加茂伯爵と名乘らせられた樣に

▽三嶋伯爵と名乘らせ給ひ、海陸萬里、非常の危險を幸ひに御恙なくも英國に渡り御使命を果し給ひ、茲に目出度御歸朝になつたのである。

◎可愛い子は山へ（四）

吾輩の觀た案内者 文學士 大町桂月氏談

大概の人は金剛山へ行くと云つても萬瀑洞邊を一寸覗いて歸るのだ尤も時間なり費用金なりの關係もあるのだらうが私は是に就ても少々議論がある、登山でもやらうと思ふ程の人は平常から其積りで什麼と財布との餘裕を拵へて置いたら善いではないか。金剛山を見なければ山水を說く勿れ

▽毘盧峯に 登らずんば金剛山を踏る勿れだ。金剛山に限らず箱根山にしても或は瀛洲の千山にしても何うも徹底的に頂上迄登つて天下を見下しながら一杯やる、尤も私は泥來決して一杯やらないけれども兎に角斯うした愉快を味ふ人は十人中二三人位しか無い、畢竟山に對する同情が薄いのだ、山が怨むかも知れない、夫では甚だ遺憾では無いか。次に山に登るには成るべく

▽案内を傭 ふがよい之は登山ではないが曾て私が房州の妙の浦に遊んだことがある、其處は殺生禁斷になつて居て船から餌を投げて舷を叩くと何百と云ふ鯛が波の上に躍廻るのである、今や船を出さうとすると存外波が高い、私は船頭に向つて『何うだ、大丈夫かい』と尋ねた、所が關東の人間は氣が荒いと見えて『馬鹿な心配をするな、昨日迄一週間許りは荒れに荒れて居た、そんな時にやお客さんが頼んだつて出りやしないお客さんは死んでも宜いかも知れぬが人か死んだと云つちや

▽名所に瑾 がつくから行かない今日は俺が出すんだから間違ひは無い』と叱り飛ばされたびくびくもので船に乘つたが果して無事に歸ることが出來た、場合に依ては案内人の信用し難いものもあるが、先づ百中九十九迄は信頼すべきである。世の中も其通り自分獨りでクヨクヨ心配するより最初に吟味して此人の敎へを聞けば好いことは無いと思ふ人があつたならば何れ位丈夫だか知れないと云つて依頼心は禁物だ私が

▽青年の頃 のこと私より年上の或人と一緒に山道を歩いた、其日は朝の二時頃に出發したので晩になると大層草臥れて、私は不知不識依頼心を起したもので居眠りをしながら隨いて歩いて居た、不圖目を開けると行手に大入道が突立つて居る、アッと吃驚したがよく見ると一本の枯木であつた。だから如何なる場合に於ても依頼心と油斷があつてはならない。私の經驗に依ると登山など

▽命懸けの 冒險をしなければならぬこともあるが斯かる危險な場所では案外怪我をしないで却つて平凡な所で飛んでもない失策を仕出かすことがある。要するに精神が緊張して居ると否とに因るのである、俳ほ又人が一所懸命になつた時は心が純潔に神に近くなつて居る、金も屎もあつたものでない、人は時々は懸崖にでも攀て精神を純潔にしたがよい、是も登山の殲す利益の一つである（終り）

◎伊庭飛行中尉客死

英國に於て

所澤航空隊附き飛行中尉伊庭三郎氏は英國に於て死去したる旨其筋に通知ありたり（東京特電）

◎拂曉南大門通の火事

三戸を半燒す 損害二萬三千圓

十日午前三時三十分市内南大門通一丁目百廿五番地紙商文孝伯方二階より突然火を發し折柄の北强風に煽られて所藏の紙束に燃移り二階は忽ちにして火の海と化したり火はそれより階下に山積せる油紙に轉じ更に凄じき勢ひにて同店所有の紙置場に延燒して益々猛威を揮ひアワヤ附近一帶を舐め盡さんず勢ひを見せたるが此時速くも神崎鍾路署長以下警部巡査三十名及び南大門、黃金町、鍾路の消防隊驅け附け二ヶ所の消火栓を利用して目醒ましく消防に盡力せる結果幸ひに三戸一棟を半燒したるのみにて午前五時三十分全く鎭火せり現場附近には商業銀行朝鮮郵便局等の大建築物ある事とて一時は非常に混雜したるが損害額は二萬三千餘圓の見込なりと

◎三千圓の米

雨で臺なし

現在大邱驛に停滯せる米豆は玄米三萬三千叺大豆二萬一千餘叺此金額實に六十萬三千六百圓といふ巨額なるが八日午後よりの降雨にて之等の堆積米豆に少からざる損害を與へたり右の中豆は下敷きをなして其上に堆積しあり又相當の覆ひもなしあり發したる被害なかりしが米は下敷きをなさず地上に直に積み上げあり何等の覆ひもなし居らざりしため降雨と見るや荷主驛ち各米商連は多數の人夫を雇ひて覆ひをなし又は下敷きをなす等八日夜は徹夜にて雨の番をなしつつありしが九日朝迄の雨にて浸水せる米の損害約三千二百圓なりと（大邱）

◎總督府官報 體裁が變る

三段にして朝鮮發報を折衷した形？

先日から官報の體裁が變つて從來の二段が三段になつた上汽車時間表の赤紙が加へられた朝鮮に於ても官報改良の說は早くから或一部に稱へられて居たが未だ其期に非ずと云ふので其儘となつて居た然るに内地官報の改良と共に朝鮮に於ても何時迄も此舊態を固守して居る譯にも行かず何とか改善が仕度いといふので目下總督府總務局官報課に於て改善方法に付考究中であるが聞く處によれば從來の二段側を内地官報同樣三段制として現に發行されつゝある朝鮮官報を折衷した樣なものにすると云ふのが大體の趣向で同時に官報としての威嚴を損じない程度に於て改善仕度いと云ふ事を其主眼として居るらしい

◎鷄でも料理するやうに 手足を押へて叩斬る

殘酷鬼の如き海賊團　危く虎口を逸れた潮見好吉　遭難當時の光景を語る

既報の如く七日大連入港の大連汽船會社の貨物船潮見丸は愛媛縣越智郡岡村島名潮見好吉（二〇）と云ふ航海中遭難和船の乘組員を連れて來た好吉は小柄な眞黑の色の背の低さうな男、恐怖にオドオドとした眼を光らせながら

▲遭難當時 の模樣を語つて曰く私共は一年ばかり前から愛媛縣越智郡岡村矢野國治の所有する百三十五噸の木造帆船永吉丸に乘込んで居ます乘組員は私の他に船長田中彌吉（四三）水夫長佐藤丈吉（三七）水夫吉田幸一（三五）矢野友一（三九）白石政一（三七）藤原定五郎（三五）外一名の八人です昨年十一月若松から石炭を二十五萬斤許り積込んで

▲釜山を經て 十二月一日青島に着し十五日迄滯役を爲し鹽百九十噸、鷄卵一萬、白菜七百斤、葱五百斤を積込み十五日夕方青島を出帆し釜山港を指して航行中十六日午後九時より急に東北の烈風吹き荒れ帆船の悲しさただ風の間にまに西へ西へと吹流され十二月二十五日にとある

▲無人島に 漂着しました斷崖から逸れましたが此の時既に船中には食料品が缺乏して居たので島に上つて何か食料になるものを捜さうとして居ると沖合を汽船が通りますから八人の者は聲を限りに助けを呼びますと其の汽船が近寄つて參りました此の汽船は日本の第一多聞丸でした一同は地獄で佛に逢つた樣な喜び多聞丸から當分の食料を貰つて貰ひ

▲歸り仕度 に取り掛つて居ると何といふ不運な事でせう二十八日の午前八時頃二三隻の支那船が私共の船に漕付けて來ます始めは何とも氣が付きませんでしたが船を付けると三十人許りの支那人が手に手に短銃、鉞等を提げて躍込み廿八日と二十九日の二日間に船中の貨物は鹽を除くの外

▲全部賊船 に積込んで終ひ吾々八人に飯を炊かせて賊は引揚げるからお前達を皆んな殺してやると軍議したから一同は大いに驚き涙ながら掌を合せて命乞ひをして見たが賊はお前達を助けて置くと日本の水雷艇がすぐやつて來るから一人も助ける事は能きぬと一同を船内に追込み船長から始めて一人々々四五人

▲鷄でも殺 す時のやうに足を捕まへて引摺り出し甲板の上で斧で叩き斬り始めた頭や肩に斬り付ける音と魂切る叫び聲が地獄のやうに恐ろしく聞えます私共は慄へながら番の巡つて來るのを待つて居ましたが私はあの大きな鉞で頭を打ち碎かれて死ぬるより

▲海の中へ 飛込んで死ぬ方がましだと思ひまして賊の隙を覗つて海中に飛込み水底を潛つて一町ばかり泳いでフイト頭を上げて見ると支那人の漁船が居りましたが此の時私は寒さの爲め殆ど人心地を失つて居りましたすると支那人の漁師が助けてくれ恰度通り合せた

▲支那汽船 の同安號に乘せてもらひ秦皇島から大連汽船の濟通丸に移され漸く斯うして命拾ひをしましたと語りたり因に大連海務局及水上署にては大いに同情を表し金四十圓を義捐し同人を鄕里に送還する事となしたり（大連）

從軍記者除名に就て

背信の行爲あり記者團の面目を毀損せりとの理由により出征第三師團司令部附本社從軍記者石川巳之利及び萬朝報最上改三の兩氏を同從軍記者團より除名せる旨の決議を通知し來れり（同）合部よりは何等の通知に接せず石川氏は舊冬司令部と携へて司令部所在地を離れて西部西伯利方面へ前進し目下同方面に於て活動中に在り多分此に因つて從軍記者團員の感情を害ひ右の決議を受けたる事にして別に記者團の面目を毀損する程の行爲ありとは思はれざるに付同氏等の名譽の爲め世人の誤解無からん事を明し一應辯明し置く

◎哈爾賓の寒氣

零下二十八度

恐ろしい北滿の寒さが近寄つて來た本年に這入つてからの氣溫は何かと哈爾賓兵站司令部に就て聞いて見ると七日間を通じて最低攝氏零下二十八度を示し晝間は十五度乃至二十度位の平均を示して居ることである是れから嚴寒季に入ると四十度にも下る相な

◎連絡船缺航

海上大荒れの爲

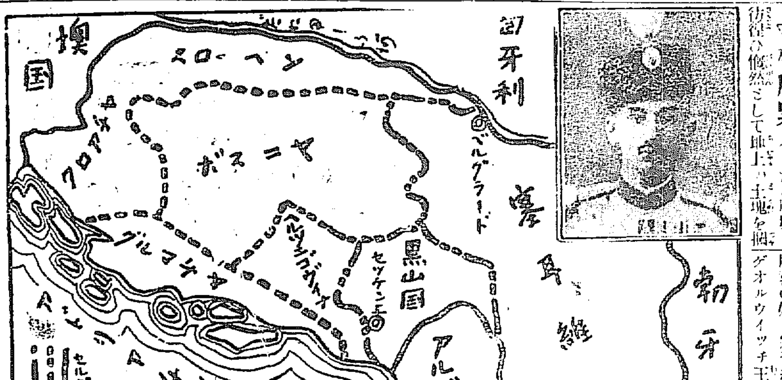
十日拂曉來釜山地方及び海上一帶風強かりし爲め午前六時四十分解纜の筈なりし聯絡船壹岐丸は出帆を見合せ又鐵道院貨物運送船御影丸は午前一時頃出帆したるも海上危險の爲め中途より引返したり（釜山特電）

◎憲兵隊寒稽古

憲兵隊司令部にては十日より向ふ一個月間柔道擊劍の寒稽古を行ふ由

◎方魚津難破船

朝鮮水産組合方魚津出張所々有船の巡邏用傳馬船一隻は去る三十一日夜の暴風雨にて微塵に破壞されたるが同夜他の傳馬船一隻、鯖流網船七隻、延繩船二隻合計十一隻は片影を留めず難破せりと



◎大塞國（グレート、セルビア）の建設

多年の宿志成る　思ひ遣らるゝ國民の歡喜

▽交戰五年 五百萬の人命と千五百億圓の大資を一空せる歐洲大亂も其源泉を紏さば大塞爾維國建設の夢想に出づと云ふも可なり塞爾維軍は一時武運拙く其全土は忽にして獨墺軍の馬蹄に蹂躪せられたので先帝ピーター一世は感慨無量の極一夜月光を浴びて彷徨ひ

▽死屍累々 たる戰場を徘徊ひ愴然として地上の土塊を掴み『嗚呼此一塊こそは我塞爾維破壞後の國土である』と絕叫し熱涙は滂沱として王の頰を流れ將士相顧み絨衣の濡らさぬ者は無かつたと云ふ而も今や

▽一陽來復 して塞爾維の全國土は恢復されたばかりでなく墺匈國の崩壞に次いで十日朝刊所報の如く塞爾維王室たるカラ、ゲオルウイッチ王室の治下に永年の宿望であつた大塞爾維の建設も成就したのである塞爾維國民の歡喜は蓋し察するに餘りがある、攝政太子アレキサンダー殿下今參考の爲に大塞爾維の面積と人口とを示せば

州別	面積（方哩）	人口
ボスニア、ヘルチエゴビナ	一九、七〇〇	一、八〇〇、〇〇〇
クロチア、スロベン	一六、四三〇	二、六〇〇、〇〇〇
ダルマチ	八、二〇〇	六〇〇、〇〇〇
塞爾維	一八、六五〇	二、九〇〇、〇〇〇
黑山國	六、二二〇	四八〇、〇〇〇
合計	六九、二〇〇	八、三七〇、〇〇〇

◎講演會注意

十一日午後二時半より日の出小學校にて開催のサモワル會主催西比利亞講演會に就いては司會幹事小田榮氏より一々會員に對し通知すべきの處何分唐突のことて其意を得ざれば當日會員諸君はなるべく參會せられたく尚は講演終了後特にサモワル會々員のみの茶話會を試むる由なればこれまた可成居殘りを乞ふとのとなり

◎攝心會ご開講

長沙洞妙心寺にては十日より向ふ五日間毎夜六時より九時まで攝心會を開き主催にて提唱あり由中にも當る十二日は新年頭の開講として午前十時後藤老師より古來師門の一の公案と呼ばるゝ碧巖集の提唱あり一般求道者の聽講を歡迎すと

◎三田會新年宴

慶應義塾出身者及び同校敗者より成れる京城三田會にては十日午後六時より千代本に於て新年宴を開催する由

◎翠蔭會謡初め

謡曲寶生流翠蔭會は來る一月十五日午後一時より黃金町地方法院前に於て本年初會を開催番組は左の如し

高砂ヘ前 ▲東北 ▲安宅 ▲羅生門 ▲鞍馬 ▲附祝言

灯ともし頃

▲京城鐵道女學の木本、吉田、内田、高岡、瀧川の諸嬢が二日の早朝から驪州方面に御旅行へと出掛けた▲當日一行は一臺の自動車に同乘し各々獵犬、食料及び酒五升を積込んで堂々と出發▲途中驪州に立寄り先づ一齋波んで景氣を付けようと徳利の栓を拔けば五升の酒が一滴も無い▲原因探究の結果栓から漏つたのだとあつて栓を更へ更に五升の酒を詰めて原州着、直ちに徳利の栓を拔いて見るに又もや綺麗に無くなつて居るよくよく調べて見れば徳利の底に罅があり一斗の酒は自動車に飮まれたことが判明▲五日迄の間に二三十の獲物があつたが歸途永登浦附近で獲物の袋を紛失、其上自動車の故障で來たので今度は自動車を押して歸つたと云ふ忌々しさに一行は七日料亭白水で腹癒せの宴を張つた

◎熊平支店の擴張

市内本町熊平支店にては顧客の便益を計る爲め本紙九日朝刊廣告の如き方法にて卓子椅子等の意匠圖案を一般に懸賞しつゝあり

◎平壤の内地人

◆多いのは山口と福岡◆

十九圓餘にして前年同期に比すれば約四千餘圓の増加を示し居れり是は市價昂騰せしに起因し個數に於ては若干の減少は免れざるもの

百十八圓餘にして之等の産地は釜山、統營、元山、鎭南浦、鎭海、馬山等最も多し現在に於ける

氣象

天氣 京城地方 曇

一月十一日（十一日午後六時迄／十一日午後六時迄）

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は十日より開場に付き好取組十番の勝負豫想を懸賞す

（藤の川（白岩（清瀨川（矢筈山（大戸平
大の里（錦洋（兩國（御西山（駒泉
（黑瀨川（朝潮（千葉崎（三杉磯（大潮
大門岩（福柳（常の花（九州山（大錦

▲勝負は總て協會發表の勝負附に依る事 ▲右十組の取組なければ勝力士の肩に◯印、引分には△、預りは×を附す事 ▲投票は一月十二日迄に京城日報社相撲懸賞係に郵送する事

賞品 △一等一人 銀側懷中時計一個 △二等二人 上等置時計二個 △三等三人 上等反物一反 △四等十五人 上等卷煙草一ボール宛 △五等三十人 福袋一個宛

本場名仙 一反五圓三十錢

天業の投資と品質本位とを以て薄利を取つた東京日本橋區本町一丁目呉服問屋は今回本場名仙五百五十反限りの處分投を始めた特別上製一反五圓三十錢と云ふ一紙の代金にて男女別年齡を記し申込めば親切に撰び送料實費にて送るとの事

眼病を、不潔い布や指頭で拭るのは目の爲に悪いから、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある
◎全國各藥店にあり 定價四十錢 本舗 東京・大阪 山田安民藥房

最上醬油

朝鮮仁川府 高杉醬油釀造場

釜山名商店案内

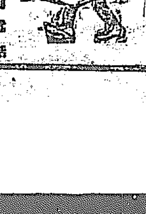
清酒・罐詰 電話三九九番

釜山 あづまや商店 糖粉・宮煙 振替京城三九番

月賦 自動式製繩機 大阪市西區 東出物産組合

寫眞 京日寫眞製版部

時計貴金屬指輪眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇二〇番 振替京城二〇四〇 地方の御注文は代金引換にて送る



島田糸店 電話五七八

長岡商店

酒精・燒酎 西貢米・碎米 砂糖・麥粉 釜山 福榮商會

★此の鳩は何であるか★

容貌の鳩は、昨臘廿七日中京の中野電信隊へ佛國から送つて來た傳書鳩である今次の歐洲戰で傳書鳩の價値は充分に之が認められたのみならず、鳩は遞送に使つても有效であることが確かめられた……傳書鳩によつて通信する方法は信書を薄き紙に認め、輕き金屬製の小さな管に入れ、鳩の足に結びつけて飛ばすのである

撫順より 撫順にて 一記者

特産物と油房

撫順の名物の石炭なるは申す迄もなき事にて其が最近に於ける狀勢より特産物の撫順を現出するも亦甚だ遠からざる將來なるべくと存じ候、而して是に伴なふて興隆すべきは油房事業なるべくと存じ候然るに此處に尤も外來者に對して奇異の感を與ふるは土地として特産物取扱業者のなき事にて御座候、由來撫順は石炭の都として市民は悉く石炭に據りて棲息せりと云ふも甚だしき誤謬にては之れ有申さず候、彼の滿鐵經營の撫順炭坑を中心として東洋炭坑モンド瓦斯果ては電氣化學等悉く石炭に其生命を託するもの而して市民は又是等諸工場に直接間接寄生し居るものにて之有候

石炭萬能の撫順

故に撫順に於ける萬般の施設經營悉く石炭を基礎とし本位として計畫され施設されつゝあるは已むを得ざるに出でたるものとは云へ餘りに偏したるやの感なくんばあらず候、是れ即ち撫順の長所……にして他の企及を許さざる長所……にして且つ極めて赤裸々なる短所なるべくと存じ候

運輸機關の利用

元來撫順の地たる奥地興京通化方面との交通に至便にして物資輾輳の此處に集散するの狀態に有之候ものが近來奥地支那人の鐵道利用の程度大いに激增せし結果昨年來撫順に輻湊する特産物は悉く是れが爲めに鐵道驛構內は急劇に增加し殆んど足を容るゝの餘地なき

農事の改良經營

きまで盛況を呈し一躍八萬噸の多額を算するに至り申し候

從來の歷史に徴するも成る程三萬乃至五萬の特産物は輸送致し居り候も昨年の如く旺盛に廻送したるは未曾有の事に屬し申し候、然れば本年の如き作物も良好なると漸次耕作農法の改善さるゝと共へ鐵道利用の傾向漸進し來りたるとにより一段の增加を見るべく既に紗からざる顯著を見居り候は石炭萬能の撫順に對し或る種の覺醒を促すものならずんばあらずと存候

大連と奉天の商人

斯の如く蝟集し來る特産物に對し撫順自身の活動は殆んど見るに足るものなく、又至大の關係を有せる奉天商人の染手を見ざるは實に遺憾とする處にて有之其の大部分は大連商人の手によりて取扱はれて居り候、此の時に當り撫順の有志岐本格氏奮然として起ち、本年度より油房事業を經營すると共に特産物取扱業を開始せるは時代の要求とは云へ撫順の爲め人意を強うするものと存じ候、幸ひに其成功を祈り候

輪廓を擴大すべし

石炭を以て生命の要素とせし撫順が更に特産物に其一端を託し進んでは何ぼ他に根底し來らんず狀態にあるは眞に慶賀すべき現象なると共に獨ては撫順の根據を鞏固ならしめ其輪廓を擴大にし且つ圓滿なる發展を意味するものと存じ候と同時に撫順人士の今一層の奮起を希望せずんば已まず候

◯多忙なりし 昨年の荷動狀況（上） 鐵道院釜山派出所調查

大正六年十二月一日より同七年十一月末日に至る一ヶ年間と前年同期間に於ける釜山鐵道院派出所貨物の集散數量を比較すると左表の通りにして移出貨物に在りては釜山發は一割三分四厘の增加し奥地中繼に於ては一割六分三厘を減少を示し移入貨物中釜山着は八分一厘を增加し奥地中繼は七分六厘の減少なり而して釜山發に於ける貨物收入金額は五割九分六厘の增收を示せり

◆劇增 歐洲戰亂突發以來南滿洲鐵道沿線に於ける荷捌きは各開港地に於ける船腹不足となり唯一の院線に據り疏運を企及するの外なく就中大正六年中に於て最も此狀勢熾烈を極め七年に入りては奥地に於る荷捌道の頂點に達し晏如として取引の繼續するを得ず即ち貨物の輸送が釜山打ち切りとし釜山斯業者と商談を爲し爲替金の弛和を企つに至り奥地に對する日本內地の取引は昔日の如く頻繁ならず一方鐵道院に於ける船腹は前年末は定期船の外貨物專用船二隻の運搬を見又前年十月以降も御用船第三共榮丸二隻の貨物船の運搬の如上の原因に據り奥地中繼は前期間に於て頗る優勢なりしに比し本期に於て稍や減退を見釜山發着貨物は却つて前期に比し何れも增加するに至れり而して釜山發送も增加の原因に就ては上記の外六年十一二兩月中に於ける第三共榮丸貨物は全部九州仕向品なりし爲中繼貨物の缺額を補充し又七年九十月に亘る西伯利出征部隊輸送に際し奥地中繼杜絕し之が補塡を要せし等最も增加の主因とす

◆收入 釜山地發貨物に對する收入金の劇增せるは本年九月一日以降大阪下關間特定運賃率の廢止に加ふるに一定品內の外一般貨物運賃の二割增を決行されたる結果大阪以西行貨物は從來に比し運賃上四割強の引上げとなり且つ前期間に於ては米大豆に限り頗る低廉なる對人特約ありしも六年十月以降撤廢せられ約倍加せる特定運賃の實施を見るに至り而も院外船の運賃率は殆ど既貨を拒絕せるやの觀あるも法外の高率を公表時給せるため鐵道院所定の低價扱ひ制度に得り託送するも前兩者運賃の利輸を獲るの現象を呈せるに依る

◆米 釜山發送貨物中米は凡そ（三〇、二七九噸）一六八、八〇〇圓を算し前期中の（一七、七二八噸）六〇、〇六一圓に比し實に（一二、五五一噸）一〇八、七三九圓の增加なり

◆麥 は馬鈴用大麥の需要頓に各地に於る騷亂の結果は各種公共團體及び大手筋の買附旺盛を極め季に於ては未曾有の暴騰を來たし米は昇年共屑價を知られ母國の需要漸次增加し本期間に於ける端境加はり（一、二七七噸）六〇九八圓を隨し前期間に於ける神戸久留米仕向製粉原料たる小麥を主とする（五八〇噸）二、二四一圓に比し六九七噸三、八五七圓の增加なり

◆大豆 は前期間に於て二四、七五六噸を輸出せるに本期間は一七、三九一噸に降り七、〇一七噸の減少を見たるは本年九月以降新穀の出廻り期に際し前記米の輸送は焦眉の急を要するものあり旁之れが排出に壓倒されたるとは大正五年上半期に於ける輸送不如意は紀和地方高野豆腐製造に手違を生じたる苦き經驗に鑑み前期間に於ては極力之が受入れに努力せし結果なりとす而して運賃收入は運賃改正の爲め前期間の九二、三九二圓に比し本期は一〇、二七九圓を占め差引一七、八八七圓の增加なり

◆生鮮魚 は前期間の（一、九〇六噸）一五、二七八圓に比し（一、九七五噸）一五、一九一圓にして兩者の成績伯仲せり

◆鹽干魚 は（六、一一八噸）三二、七二二圓にして前期間の（七、五〇五噸）三五、九三九圓に比し（一、三八八噸）三二一八圓の增加なり本品は追年需要增加し斯業に放資するもの又漸く多く製品益增率せるも院線貨物の輻輳は製品の品質上手持久しき堪へざる爲め統營港を根據として小型發動汽船又は帆船便を以て關門內地に輸送さるもの多數に上りたるに依る

◆海產肥料 は果樹園用として眞價を現はし需要增加せしも前期間の（五、〇八七噸）二四、五五九圓に比し本期は（三、七〇六噸）二一、一〇九圓にて差引（一、三八一噸）三、四五〇圓の減少なるは本品の價額昂進は本品の生產低下となりし結果也肥料類を主とする

◆雜肥料 は（二、七三三噸）一九、七四七圓を納め前期の（一、二八一噸）八、二三九圓に比し（一、四五二噸）一一、五一八圓の增加にして大部分東京方面に輸送され更に群馬栃木埼玉茨城縣下に配分さる

京城日報主催 氷上滑走大會
會場漢江人道橋下 期日詳細追而發表

◯羊と人間との交渉
西洋の羊は價値があるが……日本の羊は生產的でない……

西曆紀元前五百年に古代の文明國亞細亞のフィニシヤ國の商人が英國に渡航した時羊を引き連れて行つた、之れが羊の本場たる英國の羊の始祖であつて漸次世界に其の飼育が擴がり肝腎の亞細亞に於ける善良なる羊の勢力は全く地に墜ちて仕舞つた、夫も其の筈英本國では羊の飼育に關し紀元七百十二年にサキソン王は

◆羊の法令 さへ發布して此の飼育繁殖保護に國內擧つて努力したのであつた宜なるかな英本國だけの羊數は一昨々年の統計に據れば三千百八萬二千四百六十一頭に達し尚同國濠洲の領地の羊數一億一千七百一萬一千六百五十四頭を加ふる時は實に頗る大なる數である、更に一步を進めて世界の羊數を計上すれば

◆歐洲諸國 で一億七千九百十一萬六千四百二十七頭、亞細亞諸國一億一千〇五萬八千八百七十四頭、亞弗利加五千百四十二萬九千二百七十九頭、北亞米利加五千九百〇四萬七千六百八十頭、南亞米利加一億〇九百六十九萬三千百四十二頭となり之を合計した世界の全羊數は六億二千六百八十七萬二千百六十八頭と云ふ驚くべき數となる抑々此の

◆夥しき羊 は我々人間社界と如何なる關係を結び而して如何な交渉を持ち如何な約束を爲されつゝあるかと云へば『頗る重要なる交渉關係』を持つて居ると云はなければならぬ夫を具體的に詳說する時は何千頁の書籍に於てすら盡す事は不可能である程左樣に多くの重要な歷史と吾人の日常生活に

◆交渉關係 を有して居る彼の獨逸が戰爭に疲憊して食糧に窮した結果此の大切な羊を喰ひ盡した爲めに著しく肌着—肌衣—帽子—工業用油—其他毛織製品—工業用羊蹄化工品—羊皮加工品等に缺乏を來して困憊した事實や、本島の英國が我同盟國たる日本以外に輸出を禁じた爲世界の斯種製作品に

◆一大打擊 を來した事實や、同盟國であるが數量に制限すると云はれた爲め我國の毛織物類の大暴騰を來し延いては細織物の價額迄一躍上りに騰貴した事實は最近顯著な交渉關係で然も戰ひ終熄して平和の來らんとする今日現在に於てすら我國の輸出を仰ぐ英國は『未だ羊毛の輸出は出來ぬが同盟國の誼で貴國に輸出するから是非必要の數量丈け知らせて來い』と交渉のあつた事は未だ三十日と日の經たぬ

◆舊臘の事 にして之が返事を如何にすべきやに就ては官民共に鳩首協議を凝したと云ふ事實もある。所程羊は大切な獸かと云へば然り大事でありますと答へなければならず、夫程のものなら詳しく理由を云へと云へば何千頁の書籍に於てすら能く盡す事が不可能である程左樣に羊に就ての事項が多い、故に今最も羊の

◆重要事項 たる毛即ち羊毛に就て大略記して見よう、前にも一寸記した樣に羊より得たるところのものは其肉、其皮、其油、其蹄、其角、其毛で羊一頭は全然捨てどころのない謂はば黃金の塊とも云ひ得べきものである、然れば人が羊より欲するところのものに據りて自然羊に種類のある事は勿論で世界中最も多く飼育してる羊は

◆紡績用に 供せらるる毛を採る爲めの羊で前記掲げた世界の數は全部此の毛を目的とする羊である事を承知して置いて貰ひ度い。偖て羊の發達は人間と至極似寄る所があつて其の常食は極めて柔かい青草と清鮮な水である、草が堅ければ其の毛も堅く、草の柔かい水の豐富な地方に育てられた羊の毛は優良なものである、世界に於て此の優良なる羊即ちクロースブレッドと稱する

◆羊の產地 は英國、北亞米利加、濠洲ニウヂランド、南阿弗利加に限られ、第二位の『長毛』即ちロレグウールは濠洲に主として產し、第三位のボタニイと云ふのが多く我國に荒毛のまゝ或は精製漂白されて濠洲、南阿弗利加、英國より輸入されて居る此の種の羊數は濠洲のみにて

◆九千萬頭 で一頭より七ポンドの毛を採取し得ると見て六億三千萬ポンドの毛を得る勘定となり價額は荒毛のまゝで一ポンド一圓と見て六億三千萬圓とは僅に第三位の羊毛で而も濠洲一箇所の產高とは素晴らしい而して我日本の商人に輸入されて居る此の種の羊毛は戰前の數量で約十萬俵（五千萬ポンド）即ち六億萬貫で價額に直せば七千二百萬圓となり夫が我國民の

◆日常生活 に供せられる絨類、毛斯綸、ネル、毛布、毛綵、混毛織物（綿セル）等に成るのである。次いで第四位の洋毛（マースウール）は支那、露國、中部亞細亞等に產する粗惡なもので第五位ともなれば羊毛でなくて只獸毛と云ふ部類に入る、悲しい事には世界の上から見て我日本には此の獸毛でさへ產せないと云ふ情況である、某斯業者の話に據れば『從來日本で羊と呼ばれて居たものは『ヤギ』で我國には此の黃金に成る羊がない、故に國家經濟上から見て此の有利なる羊毛事業を我國に植ゑ付くる爲めには當路者も頭腦を痛め民間の資本家も隨分研究されて居るが未だ其の機運に至らないのである、雨量さへ多ければ羊飼ひは「ヤア今年は善い年ぢや」と喜ぶ程羊は水により生活を營むもので飼育は

◆至極簡便 であるらしい羊より毛を採る迄の順序は頗る複雜で鳥渡お話も難しいが自分達が羊の毛を取るには必ず鋏でチョキ〳〵切斷して居ると思つて居る事は大間違ひで電氣仕掛けの鋏が自働的に蟠留してある羊の體を工合善く廻轉しながら切り取つて居るのである、毛を切り取られた羊は又來年の收穫時季まで青草と水で生活し『サア毛が生ひました』から切り取りなさい』と云ふ譯で其生產の能率は頗る大な者である輸出時季は十一十二の兩月我國の

◆羊毛使用 の工場は又た夥しいが厚物製作工場としては日本毛織、薄物工場としては毛斯綸會社が比較的多くの輸入を仰いで居る、世界中優良の羊毛を所有する國は英國で、今度の戰爭に當て獨逸を是非懲さんとする爲めに英國政府は此の羊毛の賣渡しを自國の民間は愚か日本を除く外の諸外國に對して賣り渡しを禁じた、夫は獨逸が

◆中立國の 手を通じて羊毛を手に入れんとするを防ぐ爲めであつて事實上獨逸は自國の羊を喰ひ潰した爲に非常なる打擊を蒙つたと云ふ事である、社會の進步に伴れて羊毛に據る事業の擴大されて行くは火を見るより明かな事である千支も羊と云ふ年に改まつた平和來の新年を迎ふるに當つて大いに羊業の發展を國家的に望んで止まない

◆奉天財信◆
東省實業の發展 （活氣に充てる新春の財界）

東拓會社の分身たる東省實業株式會社にては昨年來山東方面に事業經營をなすべく種々調查の步を進めつゝありしが曩に石塚東拓總裁の山東視察並に其の一行に同行したる內藤東省實業專務の視察の結果其の議愈熟したるを以て實業會社にては直ちに出張員を靑島方面に派遣すべき模樣なりしも恰も期は決算期に入り且派遣候補者某氏は病氣に罹りし爲め遂に其實行を見ずして越年せしも同方面の事業は急務とする所なれば十日頃靑島に出張員を派遣すべく決定せるが其事業經營の方法に就ては今尚ほ決定を見ず該出張員派遣の上調查を俟ち具體的決定發表を見るべき豫定なりと

東亞煙草の分工場

東亞煙草會社にては其事業着々進捗するに伴ひ昨年は靑島天津等へ工場を設置し大いに事業の擴張を行ひたるも滿洲方面に於ては日に月に其需用は增加し來るも營口工場のみにては其全力を傾注するも到底註文に應じ兼ぬるの現況なるに鑑み愈本年度に於て奉天に一大工場を設置し其能力を增進し一層飛躍を試むべく決定したれば解氷早々より該建設工事に着手し本年中には完成運轉を見るべき豫定なりと

纖維工業創立總會

帝國製麻會社の分身として昨年來滿洲に於て計畫されたる纖維工業株式會社は創立準備進捗し株の如きも公募せず發起人贊成人に於て引受け濟となり本月廿五日頃を期し創立總會を開催すべき豫定なりしが該社は資本金三百萬圓にして四分一拂込を以て事業經營を開始すべく本社及び工場を奉天に設置すべき方針なりと

安東銀行奉天出張所設置

安東銀行にては從來新市街に支店を設置し居たるのみなりしが時運は該一箇所のみの營業を許さざるものあるを以て愈六日より城內に出張所の名義を以て小西關に出張所を設け益々業務の擴張と一般顧客の便宜とを計る事となれり

◯米穀特輸送 ◆牧山代議士より照會◆

群山商業會議所會頭大澤藤十郎氏に宛て東拓米穀本月二日の前途二回目下東京滯在中の牧山代議士より左の如く電報あり群山は牧山代議士が野田遞相の旨を受け群山港より東京向米穀に限り汽船を特派し鐵道運賃同額にて輸送を引受くるに付高臣の斡旋を依賴したるものにて會議所に於て調查の結果一月二月中の輸出米穀の數量は群山米穀輸出商業者と詳細打合せ汽船代理店との間に略豫定契約成り居れるも右豫定數量外に東京に發送は一月末一萬一千三百石二月末八千四百石ある見込にて本月四日會頭大澤藤十郎氏は其旨東京の牧山代議士に返電したりと（群山）

川柳壇新設 選者 劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も短き人事詩にして、源を江戸時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙上より川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て弘く全道吟士を迎へんとす

（一）用紙ハガキに限る、無制限なれども題每にハガキを別にせられたし
（二）一月十日〆切
（二）表面に『川柳壇投稿』と書入る、事

題 京…城…日…報…（讀込四句一組）

題例

京 （字結び音順に宜し）
京の町平な所で上り下り 古川柳
京で見た物言ふ花を忘れかね 劍花坊

城 （同上）
椿鼻を抑へて釆を振り 古川柳
今参り日に傾城は拘らず 古川柳

日 （同上）
十三日迄は大石突かれ 劍花坊

報 （同上）
電報の危篤と師の心矢の如し 劍花坊

讀者文藝（募集）

（俳句）	（題）	（〆切）
▽小品文▲	『冬』十行以内	十日
▽俚謠▲	『雜』	十五日
▽なぞ▲	朝鮮とかけて	二十日
▲口斷▲	時事に關すること	廿五日
▲物は付▲	『面白いものは』	三十日

賞 一等（一人）一圓の郵便爲替 秀逸（二名）五十錢同上

◯牛の角に赤い布を卷いて

國境を通す事になつた

牛の疫病流行は間島牛疫傳播の爲めに廢禁せられ間島牛は絕對に朝鮮に入るを許されざりしが大正七年五月以降間島にありては牛疫も絕ち殊に輸出旺盛期に際し其不便甚しからざるにより特に一定の道路を指示し北緯閏內に於て會寧より鐘城まで間島牛車の交通を許す事となり本月廿八日より實施したるが間島牛は牛の角に赤布を卷き一見識別に便ならしむる由（間島）

◯平壤と魚

平壤魚菜市場……三千百五十五圓……三千五百四十一圓……十二月中の平壤……

パール 椿香油
パール ポマード
パール 煉香油

毛髪の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき……現代理想の椿香油なり

本舖 東京 平尾パール
代理店 大阪 平尾レート

眼科專門 入院隨意
京城明治町東宮橫（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二一番 振替七三七番

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行 振替貯金口座京城三三二番 電話六〇一一番
支店 東京、大阪、神戸、下關、平壤、仁川、元山、大邱、群山、鎭南浦、羅南、會寧、安東縣、奉天、濟南、哈爾濱、長春、開原、四平街、鄭家屯、上海、漢口、天津、吉林、龍井村、大連
出張所 營口、傅家甸、遼陽、鐵嶺
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

優等清酒 一鶴
發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六二五四番 振替京城六〇二番

內科 小兒科 入院隨意
京城旭町一丁目 小林醫院 （電話九六二番）
院長 醫學士 小林壽
副院長 東北醫學士 戸川千武
永登浦分院 醫師 久保廣次

陸軍御用 ツ
各文店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候
人參エキス
朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話八〇番 四一一 電話七〇番 一八一 振替京城三五一一番 電略（ツ）（タ）（ハ）（ム）

▲軍隊拂下被服類▼
京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店
營業品目 紺服、防寒具、狩獵用具、馬具用品、外套、袢纒、作業服、各種袴、背廣、堅牢下駄、手袋、毛布、其他拂下品一式

前日最低溫度 二十三度六分 五度四分

商況

東京株式特電
九日後場　引値　七日との比較

東株、同新、商船、同新、郵船、同新、東鐵、同新、鐘紡、日本石油、東京灣、大日本麥酒、橫濱取引、新東京鐵、北海道炭鑛、滿鐵、第一新、第二新、東京新

[illegible]

東京現株中値
九日正午中値

[illegible]

東京期米特電
九日後場　高値　安値　止め　[illegible]

大阪株式特電
九日後場　宇治川水、京阪電鐵、東洋紡績、合同紡績、鐘淵紡績、大阪商船、同上新株、郵船株、同上新株、東京株式、堂島米穀、大阪株式、同新、日新紡

[illegible]

大阪三品特電
未着日前場　十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、五月限

[illegible]

大阪期米特電
未着日前場　先物　二節　三節　三十七圓八十錢　三十七圓九十三錢　三十七圓九十二錢

兵庫期米特電
未着後場　寄付　高値　安値　止め　三十八圓七十九錢　三十八圓七十九錢　三十八圓三十五錢　三十八圓三十五錢

下關期米特電
十日前場　晴　寄付　高値　安値　止め　[illegible]

雜穀
[illegible]

●正米依然持合
期米の不振なる受けて當正米市場は…[illegible]

●清酒値上模様
清酒は容器及醸造費用高より生れる上品拂底の處へ仕込米の高値に伴ふる新酒の減石と高値を見越し…[illegible]…る迄に至らず

●洋紙先行不安
洋紙は休戰以來人氣動搖し一時相場は激落を惹ひられしが…[illegible]

十圓乃至十圓五十錢
一格安物の商談
進む今後の變動

結局二圓より二圓五十錢の引上げ
小賣値も五錢方を引上豫定
[illegible]

●植物油暴落
[illegible]

油休止
四割方操業短縮
[illegible]

●支那栗益好況
圓處商に談行はれたる十六
[illegible]

釜山市場
十日　今朝穀物相場…[illegible]

各地商況
◎大邱米況　九日　[illegible]

下關場相
▲朝鮮米も不味　北後自米百五十…[illegible]

仁川正米
[illegible]

生魚市場
▲京城日丸市場　本日は…[illegible]

仁川期米
十日前場（自然下歩調）
先氣配ボケ三十四圓三十五錢
三錢安に寄付
錢押し賣物多く十五
[illegible]

底堅し
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　糀米賣買委託御用命　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六番

市場雜觀
[illegible]

中限買ひ釜山筋の注文
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店　仁川海岸町三丁目　電話長三〇番

利喰急の形勢
萩長中限に
鞘疲
[illegible]

仁川米豆取引所
十日の三月限
[illegible]

夫以上の崇り
買方中限を以て飽迄買占る形勢
[illegible]

堂島だより
九日後場　[illegible]

▲地方筋買直し
[illegible]

▲受米の商談
十二月限受米二萬俵有の中五千石は東京筋へ賣卸したるか本日は…[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話二八一長二八三番

白米標準値
三十九圓五十錢

白米小賣値
四十錢　三十九錢五厘

株式會社仁川米豆取引所仲買人
全　高田仲買店
●前金御注文は　紹介なく不要候
●登錄案内及　電信略號送呈
仁川海岸町三丁目
振替三八一
電信略符ヌツ
電話長一〇〇
電話長一一九

卅六番角力
毛谷村六助　一百十席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

船井新十郎は近江典膳を伴れて摩耶山へ登りドン〜急いで參りましたが、僧夜道だの山道などは餘りいたさんので、一ッ道を踏違へるこ、こんでもない處へ行つてしまふ、何でも旅をいたすには、縱令迂りでも普通の路を通るに越たことはございません、然るに二人は至つて道の險しい、餘り人の往來をしないやうな處へ入つて來たハテナ、是れは少し道が違ひはせんかこ思つたが、今更跡へ戻るのも大變でございますから、もう少し行つたら人家があるだらうこいふので、足に任せてドン〜急いで來るこ、遙か彼方で、アレー、アレーこいふ聲に悲鳴が聞ねますから、ハヽア人の聲がする、然し見れば人家があるに違ひないこ先づ宜い按排だ、早く彼處へ參りたいが、何うも…人聲、合點がゆかぬこ、足を早めまして、その聲のする方へ飛んで來るこ、向ふの森影に大地にべつたりこ兩手を突いて詫まつて居りまするのは、年齡十八九になる美麗な娘、其の傍に四十五六の人柄の宜い町人、今一人は廿五六になる若い男荷擔ぎご見ねます、大地にピタリ兩手を突いて頻りに詫入つてる其周圍を取卷いたのが惡夫が三人ドギ〜する鬼刀をくれ男が三人縮いて雲つくばかりの惡黨、典膳は是を見るこ先生、「何やら喧嘩らしい、速かに救つて遣はしませう」新十郎是を聞いて、素より弱きを扶け強きを挫く性、「惜んで立つてる場合でない」ご山間には折々こんな事があります、是は山賊に違ひござらん、速かに救つて遣はしませう』こ、新十郎は…「ヤイ、四の五の吐いて逃げられるもんぢやアねエ、往生しろ〜」、古い文句を並べるやうに急けッ』こ兩人飛ぶが如くに蒐け來るこは夢にも存じません、町人の目先に大刀を突き附けまして、○『ヤイ、四の五の吐いても容赦はしねエ、もう疾から尾けて來た仕事なんだ、此方等に睨まれちやア、ヂタバタしたつて逃げられるもんぢやアねエ、往生しろ〜』こ古い文句を並べるぢやアねエが、慈は摩耶の山中で地獄谷こいふ處だ、何したつて助かりッこはねエ、汝等は叩ッ斬つて娘だけは助けて遣る、雜物はそつくり貰つて行くから、世迷事を云はねエで念佛の一遍も唱へろ、諦めの惡い爺ぢやアねエか、さア覺悟をしろ』こ飛び込んで斬らうこする、其の間へ身を擂入れた彼の娘が『若し、何うぞお願ひでございますから、二人の者をお助け遊ばして下さいまし、妾は何うなつても構ひませんが、何うぞ、父さんをお助けなすつて下さいましお慈悲でございます』こ云ふのを聞いて一人の盜賊が○『それほど娘が頼むなら、爺を助けてやらうかな』△『助けてやるんでげすか、是れから足がつくご面倒だ』○『虛がよ、娘があれほど頼むんだから汝達は爺を途中まで送つて行つて、道の判る處へ行つて押放してやるが宜い、娘、汝は俺こ一緒に行くんだ』娘『ハイ、貴下方が送つてやるこ被仰る御親切は忝なう存じますが、途中で萬一の事があるこなりませんから、妾が此處で送つて參りたう存じます』○『馬鹿な事を云へ、そんな事を云つて斬らうこする、娘は大きに驚いて『アレー助けて下さい、誰か來て下さい』こ呼べご叫べご山中の事で、人一人來る氣遣ひはございませんから安心をした盜賊共の後へ、何時か廻つた船井新十郎、忽ち其奴の利き腕を取つて肩に掛け、筋斗打たして大地へ投付けました。

新廢物利用法
主婦の心得

◆魚の骨でスープ◆　鯛でも比目魚でもこにかく大きな魚の骨を求め適當の水に入れて弱火にかけ氣長にぐつ〜こ煮出すこ味が出ますから美濃紙か晒木綿で骨を漉し去り食鹽をよいほどに加へれば味のよいスープが出來ます魚屋に頼んでおけば安價で材料が買へます

◆鳥の骨ご野菜◆　鳥の骨を除り細かに切らないやうにして鍋に入れ、大根、甘藷、人參、蕪菁、牛蒡などの野菜を適宜に切つて加へ、能く煮て味の出た頃、醬油ご砂糖こで味加減をいたすと、大層旨しい惣菜が出來ます。

◆米の研ぎ汁糊◆　米の研ぎ汁をこつておき、容器の底にたまつたこごりを煮るこ、立派な洗濯糊が出來ます。

◆蜜柑の皮で◆　乾しておいた蜜柑の皮を焚くこ、夏の蚊遣りになります、香氣があつて普通の蚊遣り以上であります。

◆うごんの茹汁で◆　うごんの茹汁の温かいうちに髮を洗ふこ、きれいに垢が落ちます。布海苔やうごん粉よりも安くて重寶ですから地方などでは主にこれを用ひます

◆腐つた牛乳の利用◆　牛乳の腐つたのは直捨てしまふものですがあれを瓶につけて磨くこ綺麗な光澤が出ます、またひごく腐つたのでなければ、洗顏用にするこ大層きめを細かにする効があります

◆粉炭で臭氣止め◆　夏になれば便所が臭くて困るものですが、さういふときには便所に粉炭み撒くこ効驗がございます。

◆古い齒磨き楊枝◆　もう使へなくなつた齒磨楊枝は、糊を塗るこきに使ふこ、まことに重寶でございます。

◆琴三味線の廢れ絲◆　琴や三味線などの使へなくなつた絲は、帶やはたきなどのやうに釘にかけるものゝ紐によろしいのです。

一月十一日
（舊曆十月十日）（金曜）一白（みづのえ）…[illegible]

▼一白▲何事にも用心すべき日也
▼二黑▲餘り香んばしからざる日
▼三碧▲伝ご氣張れば氣張り甲斐のある日或は目上の引立に遭はん
▼四綠▲思ひがけぬこころにて思ひがけぬ利益を授かるべき日なり
▼五黄▲世話の仕甲斐無き日なり
▼六白▲うまく行けば思ひ掛ぬ利益ある日なり心を正しく持つべし
▼七赤▲目下より立てらる日にして面白く賑やかに送らる可き日也
▼八白▲一寸的の外れ勝なる日也
▼九紫▲感違ひのこころある日なり

演藝案内

壽座　京城本町…電話五七八　…[illegible]
有樂館　…[illegible]
ラジウム礦泉　…[illegible]
幽靈船　…[illegible]
黄金の夜　…[illegible]
馬　…[illegible]
壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　…[illegible]
京山愛三　大一座　開演
黄金館　…[illegible]
箱根靈驗躄の仇討
戀の暗礁　全五卷
つなぎ舟　全四卷
浪花館　京城明治町　電話二六〇　…[illegible]
大正館　櫻井町　電話八七三　…[illegible]
赤自動車怪室
秩父大八郎　全四卷
薄き縁　全五卷
文樂座　本町五丁目　電話三三八　…[illegible]

花柳病外科專門
梅毒・淋病・泌尿生殖器病
痔・肛門病・皮膚病
婦人病・神經衰弱・ヒステリー
606
京城南大門通鮮銀行裏
司生堂醫院
電話三〇六五番

GONOTHYL
淋病内服藥
ゴノチール
◎極メテ合理的ニ創製セラレ最モ卓越セル治淋劑トシテ益々醫界ニ稱贊セラル
（一容器　三十球　六十球　百球入）
大阪市道修町
西村藥林社
（各地有名藥店ニ有リ）

Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病。結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
百錠金壹圓＝說明書進呈ス＝各藥舖ニ有リ
東京室町
三共株式會社

咳嗽を鎭め痰を袪り
根本的に呼吸器を健全にす
タンセキ改良劑　呼吸器散
丸藥に呼吸器丸あり
かゝる時服用せよ
□息苦しく胸痛む時。
□咳出て夜眠られぬ時。
□たんに血の混る時。
□聲涸れ出ざる時。
□のんご腫痛む時。
□たんせき切れ難き時。
本劑を一週分試みよ如何に頑強のタンセキにても胸苦しきを和げたんを袪りせきを治し夜間安眠の効現はる。
藥價　十二錢、二十五錢、四十五錢、壹圓廿錢
各國藥店に販賣す
本舖　丹平商會藥房
大阪心齋橋二丁目
東京日本橋區檜物町

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增
大阪府堺町
宅合名會社
灘御影釀造

汽車
京釜線（南行）（北行）
京義線（北行）（南行）
京仁線
京元線（北行）（南行）
[illegible]

京城日報

第五版

本紙定價 壹部金四錢 壹箇月金八拾錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

俗論を排す（三）
謬想の一一
軍國主義の絕滅

……過ぎずと爲すものなり。乞ふ吾人をして更に永遠平和といふウイルソン主義を考察せしめよ。

……國王の愧哭にして、何方が勝つ……ればこそ、又たこひ五分々々の引分に終ればこそ、軍國主義が忽然として此の世界に消ゆ去るべき理由なし。然るに英米人の言ふ所へば、一切生存にし、又其まゝに吐き出して、しほの有識顏する日本一部の論者は、恥かし氣もなく蓄音器の役目を勤め居ることこそ淺ましけれ。

四年三箇月の久しきに亘り、歐洲中原に修羅道を現じ、三千億の國幣を擬し、七百萬の人命を犧牲に供せる世界以來未曾有の大慘禍の中に漂ひたる人の耳には、軍國主義撲滅の呼號は、如何にも快く響くならん。又實際軍國主義といふ如き地獄の叫喚が、一切消滅し得たらんには人類の幸福此上なしと雖も、世界は依然たる穢土にして、天國にも淨土にも化せず、人類は依然たる人類にして、神とも佛とも爲り得ざる今日に於いては、遺憾ながら唯理想として之を仰望するの外なきを如何せん。見よ軍國主義の絕滅を叫び、永遠平和を高調するの昨今に在りながら、しかも其の提唱人ともいふべき米國に於て、海軍卿ダニエル氏は三年の後に海軍力を二倍にすべき計畫を聲明しあるにあらずや。而して英國は勿論從來の二國對手を標準とする海軍力維持の國策を拋擲せざるべく、ウイルソン氏の海洋自由論の如きは、勿論否決を以て迎へつゝあるの狀態を見ば、其の前途は知れ切つたることや……後之を舊態に復するものなり。而も之を以て英米は眞に主義者にあらずと速斷するが如きは、天下の愚之より甚だしきはなし。……

活動粗食論（二）
陸軍大將男爵 福島安正

試みに聞け、戰は獵師の如き高い處に登りて見んか。吾人の眼界に映ずるものは果して何物であらう。……も亦過去から明白となるであらう。而して歷史あつて以來の大事であつた……將來の世界に影響する所又大なるものがあらう。我國たるものも寸時も油斷すべきではない。即ち……

▽吾人の双眸に 集まり來る……一幅の畫圖の如く……翻せらる可く、我にして剛健なる精神を具へて毅然として起つたならば彼等を屈服する又難事ではない。而して此の雄平たる精神を……山野の跋渉に加へ……其の主なる利益に相伴なうて、茲に

律を殺陣の裡に收め來つたならば殺々數千里の大洋も庭前の池水と異なることは無いやうに感ぜられるものである。諸子よ、其の時試みに想像して見給へ。此の水の東の果は南北亞米利加の西岸であつて、布哇や桑港や秘露や智利は彼方であるかと、遙に遠き國々の有樣が、自然と

▽腦裡に描かれ て來るのを覺ゆるであらう。又南の果ては蘭領印度やニュージーランドや比律賓や濠太利やタスマニヤ等と恰も世界のパノラマが、吾人の眼前に浮び來るの思ひがあるであらう。實に此の地域こそは英里五六千哩より七八千哩、世界の三分の一乃至四分の一の廣さを有する地域であつて、其大なること斯の如くなのである。茲に於てか世界といふものは、決して左樣に廣大なものではないといふ思想が、徐ろに浮び來るものである。以上の考へを以てしたならば、遠回の歐洲大陸は强ち遠き絕域のことではなかつたのである。實に手近き近隣の地に於て爲された所の

▽慘劇であつた ことを知るに至るであらう。然う思つたならば世界に立る我帝國の位

▽副産物なる者 が生ずる。乃ち粗食の習慣といふことである。高處に登りて數十百里の遠き所を眺めて絕大なる愉快を感ずる時、漸くにして人は空腹を訴ふるであらう。然る時に携ふるところの辨當を開いて、山川の偉大なる景色を眺めながら、麥飯に梅干若くは澤庵を佳賞しながら、手づから谷川の淸泉を掬ひ來つて嚥下する時、誰れか赤四疊半裡に牛鍋や酒り料理店に鰻を食することと比較するものがあらう。今日一般に稱する所の衞生法なるものを見るに、一日に牛肉何匁、牛乳を

▽何合と制限を 設け細心の注意を拂ふのは好いが、而もこれを用ふる人の顏色は愈々惡い。彼等は云ふ、鷄卵は消化し易くして滋養分に富むと。又曰く堅きものを食するは不衞生であると。恰も病人の如くに大事を取るは賢いやうではあるが、而も斯の如き用心深き人の軀體は日々益々弱くなりゆく其の臆病なることは夥しい。斯の如き有樣では、野菜類に乏しい蒙古あたりに於て活動が出來やうか。勿論西伯利は寒く南洋は熱い。而も其の熱い所寒い地にも現に安樂に居住する人士のある以上は、何うして我が神洲の民にして行き得られないといふ道理があらう。寒熱に惑き飲食を云々するのは所謂現代の臆病衞生である。之れに反して山を歩みては、

▽雄大なる風光 を眺め而して活動の後に粗食を貪り恣々鍛ひ上げし精神は、はじめて鋼鐵の如きものがあるであらう。人の往くところ皆往く可く、人の食するもの皆食す可く、世間に不可能事なしといふ活動的人物こそは出來るのである。衞生法なるものは人を一層强壯ならしむ可き者のものではあるが、其の實衞生法は却つて人を弱めつゝあるのである（東京支局）

有樂町より
▷（東京支局）◁

▲小田原古稀庵の山縣公は元旦午前十時といふに服裝を改めて邸內に設けた先帝陛下拜禮所に於て恭しく遙拜式を行ひ賀客に接することは避けて居られる▲けれども隣家の益田新男爵を始め年頭の賀客が頗る多く各方面からの郵便賀狀數百通に達したのを一々披見される何でも七八日頃には上京されるとのこと▲大磯の大隈侯は例によつて避寒地へ廻送して來る數千通の賀狀を一々見ては返事を出す可き向きを家職に指定するなど中々細かい加藤憲政會總裁が元旦に訪問したのを始め例によつてお客は多い▲興津の西園寺侯は水口屋の別莊に納つて居られるけれど歐洲出發の日取も近付いて來たので內閣や外務省との文書や電話の往復中々頻繁で元日には八郎氏夫妻を始め親族の人々の挨拶をうけ二日には新別莊地に例の杖を曳きながら土地の者から祝詞をうけられた七八日頃には御暇乞ひのために參內せらるとのこと

賦得朝陽雪 一首似加藤扶桑　西川玉壺

雞林雪霽唱金雞。八道山河絕虎柄。海日映天天有霽。李華一技上秦笄。長白之山鴨綠水。砂場千里雪浩浩。皇風不比春風晚。照出海天旭日光。

皇風吹遍于大陸之一角、半島人欽仰皇德者十餘年于茲、李花上春笄固不偶然也、日鮮兩地素一邦、日鮮兩人素兄弟、同源分流千餘年矣、今即復古歸一、此事分明不容疑、而日鮮人共既不審其來由、尤可憾也、吾兄精通明古典、特於日鮮上古史之研究、實爲當代第一人者、若揮其椽大之筆、而解說此事由者、其所利益于邦家者、蓋有不可計者、至囑（扶桑生）

……米國政府に提供しある本邦船舶二十三隻十五萬二千二百九十三噸（內……）の通りなるが此後の狀況を聞くに在りては社船側に……社外船主側に……各船主中に於ても自己の定期航路……の狀況貨物の狀態に應じて……決定することとなり居る旨は……れば目下行の……米國政府に問合せ中にて右判明次第夫々引渡し場所を指定

門司新嘉坡十五圓△香港神戶米二隻九千五百三十噸は海運……

一年の計を定む可き時は來れり速に入會せよ

大日本國民中學會

懇切無比の新方法を以て中學全科を完全に獨習せしむ

天下無比の講義錄　立身出世の最捷徑

諸君は須らく大戰後に處すべき準備をなかる可らず

本會講義錄の優秀完全なるは既に天下に定評ある所にして創立以來正に十七年、基礎も固く社會の信用絕大也、更に本會には講義錄の外に青年雜誌を無料進呈し圖書貸付其他諸學上の便益多し

講義錄見本規則書進呈（申込次第無料）

進んで本會の新學期講義錄に就て其根底を作れ

第三十一回新學期開講 入會の好期は今此時也！此際の入會者諸君に對し特種大特典供提

大日本國民中學會 振替東京二四〇〇 電話神田 二〇〇三 三〇〇三 四〇〇三

會長 尾崎行雄　學監 遠藤文學博士 山內理學博士　顧問 新渡戶博士 和田垣博士 三宅博士 浮田博士

第七十一回 勸業債券（四分利 拾圓券）賣出（くじなし からく）

一等割增金二千圓附、初回抽籤は本年三月

最初三箇年間は年二回（抽籤三回目迄）同額割增金添附

一月十五日より二十八日まで

日本勸業銀行、同大阪支店及各地代理店、取扱店並郵便局にて

研究社發行代表的四大英語雜誌の模範的新年號

英語を學ばんとする諸君は學力の程度に應じて本社の四大英語雜誌に來れ　各誌程度に應じての特色天下無比

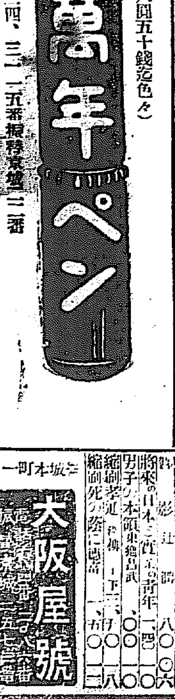
研究社 東京麴町區富士見町六丁目 振替口座東京二八六〇一番

日本一の英語研究
金色燦たる美裝を凝らして諸君に見へんとする我が「英語研究」の新年號が其內容の多趣味なるべき事は、ここに贅言を要せずとも諸君のよく推知せらるべき事である。……
目次大要 ……受驗準備ノート、時事問題の會話等　新年附錄 夢の都 廿四頁の大饋物 三百五十人受賞大試驗

理想的の中等英語
目次大要 英譯金剛石 楠公と那翁 前置詞カード ……附錄 袖珍第二英語讀本……

英語入門雜誌 ABC
英語入門雜誌ABC新年號の內容は……新年號には本誌四頁大の「ABC双六」を附錄と添へてあります……
目次大要 懸賞募集……附錄 ABC双六 袖珍第一讀本……定價本號に限り金參拾錢

面白く解り易い 英作文雜誌
英作文を本位として、あらゆる方面からの英作文を愉快に敎へる本邦唯一の英作文雜誌なり。……定價 一冊金廿錢 郵稅五厘 一ヶ年分郵稅共二圓四十錢 每月一回發行



熊平特製 品質保證 價格低廉（二圓五十錢以上六圓五十錢迄色々）
京城 熊平支店 電話長六二四、三二一五番 振替京城二二一番

法人登記公告

……右大正七年拾貳月拾六日登記　京城地方法院春川支廳

法人登記

……右大正八年壹月七日登記　京城地方法院平康出張所

公示催告

……大正八年一月六日　京城地方法院

公示催告

……大正八年一月六日　京城地方法院

公示催告

……大正八年一月六日　京城地方法院

最新刊

朝鮮法令輯覽……

大阪屋號 京城本町一丁目

◇露國參列未定

露國の孰れの黨派が講和會議に參列す可きかに就き議論起れるが結局露國は講和會議に參列する能はざる可しと（巴里電報）

◇休戰委員の權利
フォッシュ元帥の言明

フォッシュ元帥は休戰委員は軍事上の指揮及び經濟權を確定し且つ水路交通委員の命令執行を管理する權利あるを斷言せり又伯林ポツタム宮殿の貨物賣却に就ては休戰條件に違反するものなりとして之に反對せり（巴里電報）

◇大統領豫定變更

佛首相クレマンソウ氏は七日ウイルソン氏と長時間に亘り會見したる結果ウ氏は豫定を變更し九日四聯合國政府首相の會議に列席する事となれり伊國首相は九日巴里着の豫定なり（巴里電報）

◇加州土地所有法案

一カリフォルニア州々會は六日開會されたり外人土地所有法修正案提出さるべし（桑港電報）

◇對露戰爭行爲中止

スター新聞の聞知する所に據れば英國は露國に對する戰爭行爲を中止するに決定したりと（倫敦電報）

◇コルチヤツク政府の新大臣

其筋著情報に依ればコルチヤツク政府は外相にサゾノフ陸相にステパノフ糧食補給大臣にゼフイロフを任命し政務刷新を期すと（東京特電）

◇對支借款締結

東亞興業會社と京綏鐵道との借款三百萬圓は十二月七日締結せられたる旨發表されたるが右は同鐵道擴張に使用さるゝものなり（北京特電）

◇錢內閣同意案通過

十日參議院開會錢內閣同意案を附議せるが閣員何れも九十六乃至百票にて全部通過せり尙參議院議長選擧を續行せるが李盛鐸氏八十六票にて當選せり（北京特電）

◇南方要求拒絕

廣東軍政府は徐總統に對し南北講和に各國領事を立ち合はすこと南方代表を保護することを申込めるが徐總統は之を拒絕せり（香港特電）

◇北京記者團決議

在北京外國新聞記者及び支那記者の一部は七日左の決議をなせり（北京特電）

一、廣東舊國會は繼續し憲法制定の責任を全うせしむること
二、舊國會をして徐世昌氏の總統たるを追認せしむ
三、副總統は舊國會にて軍人外より選擧し新國會の承認を經る事
四、督軍を中央の直轄とし督軍以下を廢し軍民分治とす
五、歐洲戰爭後締結されたる支那と各國との密約借款は皆發表し
六、議和地點は上海とす
七、支那の和平統一に就き協商國なるべく援助せしむ
八、今後の借款は幣制借款に加へ支那の經濟政策に便すること

◇授爵

近衛文麿公の令弟秀麿氏に對し子爵、鍋島侯爵三男海軍大尉貞次郎氏に對し男爵を九日夫々授爵の御沙汰ありたり（東京特電）

◇東宮武官動靜

東宮殿下の台旨を奉じ北滿西伯利亞方面視察の爲め來滿中なりし東宮武官清水少佐は十日午後二時歸來、三日中に南行の由（奉天特電）

◇戰時保險局長

十日左の通り辭令ありたり（東京特電）

農商務省商工局長　岡本英太郎
兼任戰時保險局長

◇本田博士農科大學長に內定

朝鮮總督府勸業模範場長農學博士本田幸介氏は新に新設さるゝ九州帝國大學農科大學長に內定し居れりと（東京特電）

○パレスタイン宛電報（注意）

島田遞信局通信課長は管內各郵便局長に對しパレスタイン（亞細亞土耳其地中海の東岸）地方宛電報に關し通牒を發する所ありたり右の大要に依ればパレスタイン地方中ヤツフア及『エルサレム』『エルアフエール』『バイファ』及び『ラムレー』に宛つる電報は（一）電報は發信人の危險負擔とす（二）電報は英語、佛語、伊語に於ける普通語を以て記載し且家事用又は個人用のものに限ること（三）後廻し電報は之を取扱ふ（四）特種取扱は通信料前納に限り之を取扱ふ（五）料金は香港線經由一語に付二圓五十錢とすることゝなせり

○辭令（十二月廿六日附）

陞敍高等官七等　總督府技師兼總督府中央試驗所技師　清水武紀
總督府技師　丁奎鳳
陞敍高等官七等　總督府判事　鮎川元恭
陞敍高等官三等　總督府判事　多田吉鍾
總督府判事　山內銀次郎
總督府判事　羽生慶三郎
陞敍高等官四等　總督府判事　原田等
總督府判事　川野透四郎
總督府判事　室喜一郎
總督府判事　北村直甫
總督府檢事　四位義正
總督府判事　外間現篤
總督府判事　山口均四郎
總督府判事　新井胖
總督府判事　三田村富彌
總督府判事　李善鍾
總督府典獄　富永義道
總督府判事　石川鶴吉
陞敍高等官五等　總督府判事　齋藤榮治
總督府判事　淺原清右衛門
總督府判事　有澤作治
總督府檢事　崔浩善
總督府檢事　魚允斌
總督府檢事　林英賛
陞敍高等官六等　總督府判事　韓國鍾
總督府判事　孫英
總督府判事　劉泰昌
陞敍高等官七等　總督府府尹　本田常吉
陞敍高等官三等　總督府郡守　申佐善
總督府郡守　申泰茂
總督府郡守　崔台鉉
總督府郡守　朴相駿
總督府郡守　崔元淳
總督府郡守　金祥演
總督府郡守　石明瑗
總督府郡守　姜昌熙
陞敍高等官五等　總督府郡守　尹成鎰
總督府郡守　孫顯浩
總督府郡守　金基斗
總督府郡守　桂奉祖
總督府郡守　李聘秀
總督府郡守　李啓熙
陞敍高等官四等　大田中學校長　關本幸太郎
陞敍高等官六等　釜山中學校敎諭　佐々木愨譲
京城中學校敎諭　高木善人
釜山公立高等女學校長　高橋智
陞敍高等官五等　京城工業專門學校敎授　曾根田又雄
京城專修學校敎授　須藤文吉
京城工業專門學校敎授兼朝鮮總督府技師　佐藤修二
陞敍高等官六等　仁川公立商業學校敎諭兼女學校敎諭　村田長太郎
釜山公立商業學校敎諭　光石龜
陞敍高等官七等　公立實業學校敎諭任仁川公立商業專修學校敎諭　川上準一
叙高等官八等　慶尙北道技手　鈴木隆
一級俸下賜　全羅南道技手　宮木又七
二級俸下賜　總督府事務官　久水三郎
總督府鐵道局長　入見次郎
總督府總務課長　荻田悅造
一級俸下賜　總督府技師　村田榮一郎
三級俸下賜

○軍司令官視察

宇都宮太郎中將は南鮮地方地形視察のため山本參謀並に古賀副官を隨へ來る十三日午前八時龍山驛發出張す可く旅程左の如し
▲十三日午後四時忠州着　利川忠州視察▲十四日正午清州着同午後五時公州着▲十五日同午後五時扶餘着▲十六日午後一時半扶餘發同午後五時三分群山着▲十七日午後二時全州着全州視察▲十八日午前四時五十五分木浦着▲二十日滯在、木浦視察▲二十一日午前十時光州着　光州視察▲二十二日午後九時二十分釜山着滯在

○滿洲駐屯軍滿期

滿洲駐屯第七師團は目下西伯利出征中なるが來る四月三十日を以て駐屯期滿了歸還の筈にて交代として京都府下第十六師團來滿に內定せりと（大連）

○未墾地利用獎勵
―經費を豫算に計上す―

朝鮮に於ける未墾地は頗る廣大にして專門家の見る處を以てすれば約二十萬町步の利用面積を殘すと稱されつゝあるが未だ確實なる基本的調査の行はれざる朝鮮として果して此見解は正鵠を得たるや否やは不明なれど先づ五十個國內外の經費を以て利用し得る可き地積は最少

▲二十萬町步　見當のものなる可し客年我國の米産額が國民の食糧に著しく不足せる事實に當つて政府に於ても調節策に腐心し遂に數萬の巨資を投じて府田計畫を實行する事となり目下技術員を各地に派し之が調査を進めつゝあり、朝鮮に於ても從來未墾地利用に對しては投資家に頗る有利なる條件を附與しつゝありしが今回更に利用の獎勵を計る方針にて之が經費を豫算に計上したるが右に就き某當局者の談に曰く『元來朝鮮の未墾地利用は近年其有利なる事が漸く一般に知悉せらるゝ樣になつてから新規出願の

▲開墾を見る　樣になつたる事は喜ばしい事で殊に海岸に散在する干潟地の如きは一箇所で優に數百町步に亘り之等は築堤水門等に多少の設備を投ずるならば成功後非常な利益で斯樣な土地は地味も肥沃である處から著實な事業家の着目する處となつてゐる此利用の方法も願書及び設計書を道廳を經由して總督府に提出し許可を受ければよいので許可になつたならば十箇年間は貸付を受ける事が出來それが公共の利益になる可き事業に供するものは事業成功後附與せらるゝ事になり又開墾牧畜植樹の宅地になるものは農民、漁民以外やはり附與せらるゝ事になるのである貸付料も一町步の

▲年額五十錢　であるが特別の場合は之れをも減免せらるゝ事になつてゐる然し利用促進の爲には更に新しい施設を講ずる要あり今回獎勵方法として計畫してゐる事は主として技術上の援助であるが何樣設計等の仕事は素人でやれる事では無く又許可になるや否や不明の土地に對し事業家が技術者を雇つて設計する事は苦痛の伴ふ事であらうし技術者にしても事業の目算の立たぬ事となれば自己の地位の安否を顧慮して優秀なる者は雇傭せらるゝ事を肯じない。かかる不便があり又從來の經驗に徴しても設計が甚だ不備不用意で十件の內完全なもの僅に一件と云ふ狀態であるので此等は相等當局が技術上の

▲援助をして　事業を促進せしめる事が非常に必要の事と考へるから經費の許す限り技術上に就て援助の方針を執り度いと思ふ其他貸付け料の低下等も出來得る範圍内に於いて便宜を圖る考へである』

○仁川期米暴落

十日後場に於ける仁川期米は氣配弱く先限寄附三十四圓五錢と前場引値より十六錢安に寄り附き跡大阪安報と賣物の傾向に脆くも三十四圓の大關門を破り三十三圓八十錢と暴落したるも値頃思ひの買物出で、少しく擡頭し結局九十二錢と引返し散會したり尙ほ大阪との關係より見ればその差三百七十丁に過ぎず採算上尙ほ下押すべしとの觀測有力なるに似たり

○京城局爲貯受拂

京城郵便局に於ける客年十二月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに受入に在りては內國爲替二十八萬七千百圓、外國爲替二千八百三十五圓郵便貯金四萬七千三百十八圓、振替貯金二百八十二萬四千三百三十七圓、遞信官署歳入十三萬五千三百九十六圓、府公金二千六百六十二圓にして此の受入總額三百二十四萬九千六百四十八圓之れを前年同期の二百五十二萬五百八十三圓に對比するときは七十四萬九千六十五圓を増加し又其の拂渡に於ては內國爲替五十萬八千八百三十四圓、外國爲替二千四百五十一圓、郵便貯金三萬九千二十一圓、振替貯金二百九十八萬七千四百八十一圓、遞信官署歳出四萬六千八百三十九圓の拂渡し總額三百五十八萬四千六百二十四圓にして之れを前年同期の百九十八萬五千十五圓に比すれば百五十九萬九千六百九圓を增加したるが尙以上の外運轉爲替等の出納額を加算せば六年十二月分千九萬八千二百三圓七年十二月分千五百五十五萬六千七百八十八圓にして通計五百四十五萬八千五百八十五圓を增加せり

◇講和使節正式任命

西園寺侯近く出發に就き出發前同侯、牧野男、珍田、松井兩大使に對し講和全權委員に正式任命の御沙汰ある可く帝國講和全權委員は前記四名なる可しと傳へらる（東京特電）

◇西園寺侯出發期

西園寺侯は十一日午前八時東京驛出發の筈なり（東京特電）

●鐵相場反撥

歐洲休戰中一時恐慌的色彩を帶び殆んど無相場の狀態に陷り如何なる結果に立至るならんかと極度に悲觀せられし鐵類に對しては大手筋も之に對抗する力なく已むを得ず一般の成行相場に依り可及的損を輕くするに努め一方製鐵所の賣出もあり且つ輸入商は前途を恐怖し本國との約定を取消する者頻出せし結果として

▲在荷稍消化　せらるゝに至り而して各店共決算期たる歳末に於て極めて安値に投げ賣しを爲せし結果市場に出廻り居る有樣を呈せる事とて幾分安定したる如く米國及び英國よりも一時堵し而も相場の輸入不可能なる可き見當も附き左程悲觀する要なしとの概念が一般の心理狀態を支配するに及び先づ東京の大手筋は歳末に於て

▲市況挽回策　に就き會合協議の上一割乃至一割五分の高値に賣出す事を協定せり其結果歳末頃四五六分丸棒六圓六十錢見當なりしもの越年後七圓五十錢を最低とし八圓掛みにて手合あり又釘の如きは一樽十六七圓見當なりしが廿九圓見當に持直し實際の取引行はるゝに至れり併し乍ら鐵類は大勢上揚だしき反撥相場を呈すべしとは何人も期待せざる所なく人氣の落着を見る以上は此後本國相場に連れざる突飛の恐慌相場を現はすが如きは無からんと云へり

◎朝鮮精米張宴

朝鮮精米會社にては十日新年宴會に創立披露を兼ね朝鮮ホテルに張宴せりデザートコースに入り天日社長の挨拶に對し松永道長官の謝辭ありて主客歡談裡に九時過散會せしが來賓は松永長官大野少將廣瀬主計監人見局長美濃部鮮銀總裁川上東拓理事外約百名に上れり

◎生物學と優生學
五島理學博士の講演

來る十三日より向ふ五日間龍山鐵道俱樂部に於て講演すべき五島理學博士の『生物學と優生學』に關する講演の概要は左の如し

▲動物の雌雄　數、大さ、形狀色彩に就きて雌雄の差異を述べ終りに雌雄の變化せしめ得ることを實例によりて證す▲動物の生殖　無性生殖、有性生殖の根本差異を說き近親結婚の必しも有害に非ざることを述ぶ▲動物の發育　前異なる例證により動物發育の大要を述べ吾人の身體各部に兩親より受けたる物質の存在することを說く▲遺傳及び中性質の遺傳　精神病、自殺狂、低能、犯罪性、聾唖、色盲、畸形の遺傳の實例を擧げ良質の遺傳―優生學　力能の遺傳の實例を擧げ優生學の起りは自然の趨勢なることを述ぶ右第一第二第三講に於ては遺傳の根抵となるべき生物學上の事實を說明し第四五講に於ては是れを人類に應用して好成績を齎すべきを述ぶる由

人事消息

▲井上清氏（慶南第二部長）十日夜入城▲植木乙松氏（廣島郵便局長）同上▲南馬之助氏（鈴木安東煙出張所長）同上浦尾へ▲杉浦英吉氏（陸軍中尉）▲櫻井丈夫氏（陸軍少尉）同上巴城館へ▲田中國之賴氏（大阪貿易家）同上▲佐島忠雄氏▲鳥栖司氏（以上久原事業株式會社員）同上山本へ▲竹井軒城夫氏　十日夜出城▲長野猪太郎氏　同上

烏瞰錄

京城の乘馬會に知られたる飯泉鮮銀秘書役長十日の朝黃金町の馬場で一汗掻いてゐると、脆くもズドンと落ち初めなやつた▲寒い時なら兎に角此頃のあたゝかさに地面は氷解と來てゐるので乘馬服を散々に汚したらしい▲『ナーに落ちたと云ふ譯でもないが、馬がつまづいたのでお附き合に橫向きに下馬した譯さ』と君は云つてゐる▲身體の圓つこく肥つた人なので、厚い肉に含む彈力は並大抵でないらしく結局怪我はなかつたさうな▲乘馬と云へば鮮銀の猛者井上營業課長が近く下關支店に轉任すると云ふ、乃で一人の勇士を失ふ譯だ、飯泉幹事はその補缺に就て大分氣をもんでゐるとの事▲役人の肩書きも中央にゐると餘程長い人がある、然し京城では遞信事務官の佐々木三郎君を以て筆頭に推すと某氏はいつてゐる▲そのわけを聞くと君は遞信事務官計理課長兼海事課長事務取扱兼遞信書記官通信局勤務兼關東都督府通信管理局事務官と云ふ實に山島の名然としてゐる▲註に曰く計理課長は本職、海事課長事務取扱は課長の伊藤君が十二月から歸省し、更に大分永く歸らぬらしいので臨時に君がやつてゐる▲遞信書記官と關東都督府の通信事務官とは大連東京間電信線の朝鮮經由線を遞信局でやる事になつてゐるので、經費仕拂ひの關係上君の兼任となつてゐるんださうな

年頭に立ちて（五）
▼植民地教育機關の擴大
京畿道長官　松永武吉氏談

不肖等の如きは何等年頭に立つて話する程の材料を持つて居ないが强ての抱負の一端を述べて見るならう、何れの時と日ず日本の國民殊に我

▲植民地の住民　に讀書の趣味の缺乏してゐるのを予は常に遺憾として居る、何人と言はず人には必ず其の人自身の圖書館がなくてはならぬ、然らざれば人の思想が動もすると淺薄し偏倚し且つ輕躁に流れ易いものであるのみならず其の知識の根抵が極めて淺弱で漸次知識に乏しい低級さに落ちて仕舞ふのである、此の意味に於て自分は我京城にも今少し智識の研鑽乃至交換を意味する俱樂部若しくば會合の機關の達成せんことを希望するものである、幸ひ京城にも中村精七郎氏の盡力による圖書館が遂て朝鮮ホテルの側に竣成されるとのことであるから其の節には大いに

▲書籍の購入　に賛成し又從來乏しき積りである、我京畿道に於ては八年度に於ける新事業乃至新施設とは別に大してないけれども教育機關の擴張と云ふことには隨分努力しなければなるまいと思つてゐる、即ち八年度からは各道とも管內郡面に於ける敎育機關を擴大することになつてゐて、本府務局長の方針に依れば各道とも三面に一學校の割合を以て其の設置に努力する筈である

▲我が京畿道　は本府の所在地でもあり又現今に在つても他の各道に比較すると面に於ける學校分布の割合遙に優勢である、即ち教育機關の密度は本道に於て最も高率を示し現今に於ても尙ほ

▲四面に對して一學校　と言ふ割合を稍超過してゐる位だ、依つて京畿道に在つては各道の三面一校設置方針に對し更に一步を進めて二面一校の策を採り之に向つて今後猛進すべく努力する心算である、來年度から向ふ八箇年に於て此の計畫を遂行すべく現在の管內普通學校數六十餘校は計畫完成の曉約八十餘校を增加して

▲二百四十餘校　を算することゝなるのであるから以つて專ら植民地住民知識の向上を圖り趣味の深遠と思想の堅實を期するを得ることゝ信ずるのである然し之には幾多の難問題が橫はつてゐる假令學校設立に要する經費の如きは國庫の補助及び地方有志の義捐金等に依つて補充融通されるとしても其處には幾多教師の不足を訴へるであらう即ち先づ教員の養成より始めねばならぬと言ふ樣な譯であるが先づ互の努力によつて其實現を期したいと思つてゐる又

▲平和の新春　劈頭の吉ばしき事として李王家及び梨本宮家の御慶事があるではないか既に御婚約の上は日鮮間は言ふも更なり殆分世界的の事でもあり御婚儀御擧行の日及び御來鮮の時は吾人は府民一般と共に大いに敬意と祝意とを表する覺悟が必要であらう

仁川期米

▲十日後場 [illegible]
蔭に返し結局三錢と散會せり
後場當限一節三十三圓三十錢二節三十錢
▲中限一節三十[illegible]
五錢六錢八錢七錢五錢六錢八錢九錢二節九十五錢九十錢一錢二錢二錢三錢四錢三錢二錢三錢四錢五錢四錢三錢四錢二錢九十六錢五錢六
▲十日の三月限 [illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

下關期米特電

	當限	中限	先限
十日後場寄付	[illegible]	三六、〇〇	三七、七九

神戸期米特電

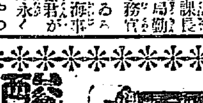
高値	三七、九	三十、七三
安付	三七、六二	三七、六一
止め	三七、六九	三七、六九

大阪株式 十日 [illegible]

◇兵卒自動車を聯ねて陸軍省に押寄す

[illegible]

天氣　京城地方　十一日　曇り但し少雨雪


酸素吸入器　登錄商標

謹賀新年

オキシヘーラー

▽實驗例說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの顯著なる效用僅か五分間を出でずして二乃至五日々の血壓を尤め一時間を經續すれば實に十九至二十日々の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て檢せば其劃間の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる
▼靈妙なる酸氣應用の本器は新しく血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに至り前の體力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎮痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▽特色（使用法簡易效力永久不滅にして電池の如く消耗するものにあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要）

正價金參拾五圓

東京市牛込區筑土八幡町三十一番地
オキシヘーラー獎勵會
電話番町長特三一〇七〇・四六八九番・振替東京二七七一二番

毛皮なめし仕立
鳥獸毛皮鞣製、綿羊毛皮鞣製、其他毛皮製品買入
京城本町二丁目　電話長二〇六五番　竹内商行

臨時内勤社員採用
希望者は來談又は履歴書送れ
京城黃金町三ノ二九一　太陽生命保險會社京城支部

●金細工職人募集
京城黃金町二丁目電話一〇二五番
喜多金光堂金工部

書記兼會計一名採用
希望者は履歴書携帶來談あれ
京城黃金町二丁目　明治公債支部朝鮮

人相見讀心術
▲新學術應用▲赤貧者無料
京城旭町一出雲屋方　南龍子出張

●産後三四ケ月位の乳母入用
御都合にては御預り下さるも差支なし
京城西小門外蛤洞　電氣會社社宅　稻田嘉助

●牛乳配達人募集
內地人年齡十七歲以上卅歲以下數名入用希望者は本人直接來談あれ
京城東小門外平山牧場電話一三三

外務社員招聘　固定給共月收
六拾圓以上各地代理店長募集
若草町百六番地　電話三〇十一番　西村商會

洋服裁縫職工　大募集　數十名
特別優遇法あり希望者は至急來談あれ
京城南大門通　丁字屋商店

見習看護婦募集
募集優待す本人至急來談あれ
龍山元町二丁目　小川醫院

●藏人數名至急入用
京城本町四丁目　三巴酒造株式會社

月收の御方へ極秘迅速信用的融通　土地家屋諸券貸借抵當受撰保
京城大和町三ノ三一　起木屋

京日案內
一回前金弐圓拾錢　一回前金（限各一回料）
申込中後途掲載中止の節は料金不返上　六回以上の御申込は特に割引の事

主　畑　類瓶　硝子工場
六一　京城古市町電話一七四六　弟兄　畑硝子工場　エキス瓶…に限る　其他一般の御注文に可應候　紫工場特製

模範牛乳　李王職御用
ニウソ石鹸洗粉
東亞牧場　京城蓬萊町四丁目　電話五二番
場主　太田正家鹽把歐

イケダ小兒內科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話（病院二二〇四番）（自宅二〇〇〇番）

宮內省御用達

ヒゲタ醬油
千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造
代理店
京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・二四五四番　振替貯金口座京城七五番

八角鋼、黑鉛川金物、鑄物製作
ストーブ各種建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申上候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候
直輸入商　京城本町一丁目
佐野彥藏商店
電話二六二三番　振替京城二一〇番

開平コークス
特等品　硫黃…………〇・八パーセント　灰分…………一一・〇パーセント
二等品　硫黃…………一・二五パーセント　灰分…………一七・〇〇パーセント

開平耐火煉瓦
耐熱度　セガーコン　三十三度　攝氏　一七〇〇度

開平礦務總局總代理店
大連　西川光太郎商店
鮮代理店
榮洋行
京城永樂町二丁目電話長四七一番

交配種編　蠶業講義錄
月謝金貳圓五拾錢●會則無代進呈●東京麴町有樂町西ヶ原蠶業學校

皇帝時代のニコラス廢帝

ニコラス廢帝が慘ましき最期の家を

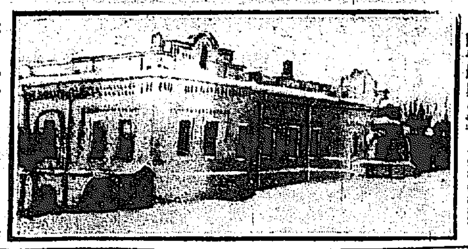
雪のエカテリンブルグに訪ふ 怖ろしき沈默の叫びよ 髣髴として浮び來る幽閉當時の辛酸

從軍記者　金谷眞

露國廢帝ニコラス二世はウラルの山のエカテリンブルグで殺された。皇后アレキサンドラはブレストリトウスクの講和條項によつてベスサラビヤから獨逸に逃れたご聞くが可憐さうな小さい皇太子も四人の皇女オルガ姫もタチアナ姫もみんな過激派の銃彈に斃れた。露國廢帝の慘ましき最後はそれが餘りにお氣の毒だといふので今に解けざる謎の如く噂されてゐる、記者も亦これを永久に一つの疑問として取扱ひたい一人であるがエカテリンブルグ市の住人ニコライ、ニコライウイッチ、イパーチエフ氏は親しく廢帝の日常に接し『その悲慘なる最後を見てゐるから致し方がない、廢帝は實に過激派の兵士が擊つた十七發の小銃彈をうけて哀れな彼の五十年の生涯を了つたのであつた』記者が

ウラル山中

エカテリンブルグに著いたのは雪の十二月の九日であつた、少將ガイダをチエックの司令部に訪うて見るこ折惡く少將は不在中であつたが部屋の其處此處には背の高い露國將校が机に倚るもあり傍令の兵士も出入して居た、また參謀部には地圖や色鉛筆で作戰に忙がしい士官もあつた、流石に北ウラルの戰線らしい氣分に打たれたのであつた『少將は留守だが少將の部屋を御覽なさい、其處は廢帝の幽閉されたところですから……』ご案内の將校は一番奥の一室に案内した、部屋は西南方に各二つ



廢帝幽閉の家（金谷眞撮影）

狹い十疊敷

窓の明るい窓が開いて位の廣さであつた室にはその一隅に巨きな西伯利熊の立あがつた剝製ご姿見の鏡が一つごコブラン織の布でつくつた長椅子が三つご普通の椅子が四つあつた、中央の机には銀製の筆架ご墨汁壺ご吸取紙が置かれて正面の壁にはピンで留めたウラル戰線の地圖が見ゐた、試みにわが踏む床のリノリユームを見れば廢帝の靴に踏まれたまゝの四角形の模樣が見ゐる、また天井に近き壁の面には日本の春の櫻のやうな優しい花が描かれてあつた憐れな廢帝は幽閉の味氣無き日を此花になぐさめられたことが多かつたらうご思つて見た、窓の外には南側の

雪の大廣場

を隔て、向ふに高いお寺が見ゐる。また手近の窓際には露國の街に數多き耶蘇の聖畫を祀つた辻堂が見ゐる、而して南側はダラ／＼坂の傾斜面が見ゐる、幽閉された廢帝にはせめて此聖堂の影のみでもせめてもの慰さめであつたらう……ご言へばチエックの士官は『否こよ、此窓の周圍には高き木の柵を繞らしありてその外を數人の兵士が監視し居たれば眼に見るこすら自由を得ざりき』こいふ廢帝は

王冠よりも

もつさ／＼靜かつたらうご思はれた『過激派の看守は何うしてこれ程までも廢帝を苦しめねばならなかつたか？』案内者の答へは極めて簡單『其處が革命です』更にチエックの士官は記者を窓口に導いて背の壁を指した、白い髯入りの壁を指した『これが皇后ご皇女の寢臺です』ご示され

血潮に泣く

聲よりも猶ほ恐ろしき沈默の叫びを擧げてゐる『廢帝の殺された部屋を見られよ』ご士官はまた衛兵の立た正門から出て裏口に廻り階下の家主の家に案内した主人のイパーチエフ氏は將の黒い大きな男で早速入口の右側茶色の窓掛を揭げて扉を指した見れば把手の所は

唯だ朝に晩に尖塔の十字架が陽に輝くのを見得たであらう、當時幽閉の身に仰ぐ十字架の光りこそ、與に鳴る鐘の響きこそは曾て全世界陸地の七分の一を知食した露國皇帝の

ころを見れば實にも優しい女文字で大根、蕪、カブスタ、バタ何程／＼の鉛筆の跡が見ゐる、バタ十四留四分の一を支拂つた、……監視の兵に十何留與へた……の文字がある、これが世界唯一の富豪ごして領地は滿月の時の月の陸地よりもまだ廣いご言はれた露國皇帝の日常の小遣錢か、今其者が立つてゐる窓際には今からわずか百八十餘日前に

美しい橘姫

が愛ひの眉をひそめつつ鉛筆を持てゐたのであらう、露帝の手蹟は南側の窓口にあつた『一七、三〇四月一九一八』……こあるは一千九百十八年の四月十七日（露西亞の暦は世界の太陽暦から十二日遲れてゐる）遙々西伯利のタボリスクから此處に來た時の記念であらうその上に卍があつたのは何の意味か、また傍には『エンゼルス、ガルヂヤン、ジーズニ、スーシユ!!!』（お、神よ!!!私の生涯は盡きた!!!）ご佛文ご露文で記した鉛筆の文字がある、此僅の五文字こそは絶望の底の五文字こそは殺される人の

綠をつないだ赤封蠟に密封されて部屋への出入を禁じてあつた『鍵穴から窺け』この爲めに面を寄せて見るこ窓から投げ込まれた薄暗い冬の日光に椅子一つさへ無きがらんご寂しき部屋が窺はれた、不圖正面の

壁を四角に

切り剝がれた跡の板を見付けて主人のイパーチエフ氏に訊いて見るこ『彼處に十七發の彈痕ご生々しい血痕がついて居たのを過激派の兵が持ち去つた』ご語る、記者は此の時タボリスクの配所にあつた哀れな露帝の顏を見た、ルバシカの姿淋しく切株に腰を卸したニコラス二世の姿をまざ／＼ご此處に思ひ浮べて見たのであつた

銃殺前の廢帝

一日三十分の散歩に大恐悦 姫達は冷い床上に寢た

眼前悲劇を眺めた家主の話

主人のイパーチエフ氏は記者を階下の應接間に誘つて『まあ／＼自分の語るところを聞け』ご椅子を奬めながら曰ふ『廢帝は今年の四月三十日此處に著いた皇太子は病氣の爲めに後から到著したが他に皇后ご四人の皇女が居られた、聞けば西伯利のタボリスクでは相當によい待遇であつたがエカテリンブルグの私の家に來られてからは

急に氣の毒

な取扱ひご變つた現在階上にある警衛將軍の部屋の什器は何れもガイダ將軍の司令部になつてから設けたもので當時は何一つ置かれて無かつた、それで廢帝は寢臺に寢まれたが四人の皇女は床にそのまゝ横はつて寢た、散歩は一日卅分を限つて許された、それでも廢帝は大悅びで私の家の狹い裏庭を逍遙したのであつた、ピアノは今此部屋にあるこれを廢帝の室に運んで置いたが過激派の兵士は哀れな姫達の願ひをさへ退けて了つた、而して此室の直上の露臺には監視兵の機關銃があつて復辟の臣の萬一に備へた

廢帝の殺さ

れたのは七月の十六日から十七日にかけた夜であつた、翌朝になつて見るこ哀れな廢帝の姿は自分の家に見出されなかつた、憐れな廢帝の消息はその後誰れ一人知る者もなかつたが程經てエカテリンブルグから凡露里程れた田舍の村で廢帝の指環を拾つた百姓があつた、私は其處で廢帝が誅されたご信じてゐる……』ご主人は無造作に眉一つ動かさずこれだけを語つた、それよりも日本軍は今西伯利亞の何處まで來たか、お前の靴は日本製か、それは露い、此處ではこんなのが二百留もするから全くやり切れん……ご

廢帝のことなごは何うでも好いこいふ顏色であつた、思へばエカテリンブルグが歐露から

西伯利亞に

向つての門戸ごなつたのも一八七五年のことではないか、時の皇太子ニコラス殿下は極東の浦潮に於て親しく一鍬の土を掘つてウスリー線の起工式に臨んでゐるではないか『殺されても家族ご一緒に……』ご願つた優しい氣の弱い廢帝よ!!それに哀れな人が見棄し逃げた皇后の心はわれ／＼日本人には解しがたい、斷頭臺に上つたルイ十六世の劇もあれごエカテリンブルグの悲劇は更にまた餘りに悲慘ではないか……露帝は更に一轉する……明治廿四年五月十一日、露國皇太子ニコラス殿下は希臘皇族ご共に軍艦にて長崎に入られ更に神戸に御上陸、京都キワホテルより琵琶湖の風光を賞でられ、大津の郡廳にて御晝餐、小唐崎町永井長助の店前を過ぎらる・時

護衛の巡査

津田三藏は劒を拔いて殿下の頭部を斬る、殿下には特に二人曳の車を召され自ら電信局より事の顚末を御打電ありたり……門を出る、ウラルの雪はまだしん／＼ご降つてゐる（大正七年十二月九日エカテリンブルグ停車場にて記す）

◇お斷り

憾劇前の廢帝の寫眞は記者がエ市より郵送せるもの數葉その他の原稿ご共に途中にて紛失す申し譯なし、されご後日讀者の清覽に供する時あるべし（金谷生）

◎大相撲延期

東京大相撲の初日は雨天の爲延期されたり（東京特電）

梨本姫宮ごして最後の御參內

十二一重に長袴の御禮裝 美々しき方子女王殿下

昨夕より降り出したる春雨の名殘は今朝（十日）も狹霧の如く注ぎて霽れやらず洗ひ淸められたる松の緑の最ご濃く立ち並たる間を靜に輾り往く二頭立黑塗の面も燦しき菊花を染出されたる二輛の馬車あり先なるは十二一重に御長袴の御禮裝美々しき梨本宮第一の姫宮方子女王殿下の山田御用掛を陪へ給ひて乘らせられ後なるは金色燦爛たる大禮服に裝へる坪井事務官の扈從するなり

澁谷なる宮邸の門を出でたる馬車は

洗滌の途を左に折れ馬車は緩やかに轆て櫻田門より和田倉門を添ふて二重橋正門に入る時恰も午前九時にして即ち女王殿下の梨本宮ごしての最後の御參內なり斯くて宮中賢所皇靈殿神殿に御參拜あらせらる式部職掌典長の恭しく御祝詞を奏するに次いで女王殿下親しく外陣に參進あらせられ折柄樂師の奏する妙なる樂の裡に御禮拜あらせられ來る廿五日を以て李王家に御入嫁の御事を言上せられて御殿を退かせられ鳳凰間謁見所に

★天皇皇后兩陛下に御對面あらせられ

種々懇篤なる御沙汰及御下賜品を拜受の上正午御退出あらせられたり因に此御儀式は宮中にても最も鄭重の御事ごせられたるものにて元來は皇祖皇宗の御前の拜禮を畢らせ給ひて後鳳凰の間に於いて兩陛下に御對顏あらせられ　兩陛下より親しく御別れの御盃を賜はる筈なれご今日（十日）は　陛下の御都合にて御盃下賜の儀は御取止めご相成りたり（東京特電）

◎兩宮御使決定す

閔李王職長官ご趙贊侍

來る廿五日東京に於て御舉行相成るべき王世子殿下御婚儀の節李王兩殿下には閔李王職長官を又李太王殿下には贊侍趙民熙氏を各御使ごして派遣せらる・事に內定せり兩氏は國分次官、田中庶務課長等ご共に來る十九日頃出發東上せん

來れ撰手諸君
全鮮歌留多大會
◇會場　京城梅之家樓上
◇期日　一月十二日午前正九時開始
◇會費　金五十錢（中食を供す）
◇會員　男女巧拙を問はず出席歡迎
◇賞品　壹等本社金牌十八金以下金ピン其他
◇副賞品　壹等より廿等迄副賞品澤山
主催　京城日報社

◎白隱元の暴落で大恐慌を感じた北鮮人

成鏡北道及び間島を主産地ごする白隱元豆が米國の需要を喚起して以來年々輸出額が増加し今では五百萬圓にも達する樣になつた然るに最近白隱元豆の輸出を禁止するこ云ふ說が起たので忽ち暴落し始め何うしても相場が立たないこ云ふ破目に陷つたそこで清津の貿易商藤井、後藤の兩氏は禁止取消運動を開始して居るが兩氏の語る處によるご成鏡北道一帶は從來白隱元豆を耕作し其金を以て粟を買つて常食ごして居るので若し是れが輸出禁止にでもなれば此豆の捌け口が全くなくなるご共に値段は愈暴落して住民は常食の粟を買入れるに困難するのみならず饑餓に瀕する事になるから是非輸出禁止を取消して貰ひ度いご云つて居る因に總督府よりは該禁止說の實否を農商務省に對し照會中であるが未だ何等の回答がないこの事である

◎女教員養成所が出來る

此四月から開設 初任で卅圓

大正八年度から新に臨時女子教員養成所を京城女子高等普通學校に附設せられ本年四月開所の豫定で目下生徒

▽四十人を

內地、朝鮮人女子にして朝鮮に於ける初等普通教育を施す學校の教員たるべき者を養成するを以て目的ごし修業年限は一年である在學中は一切官給ごし卒業の上は初任の際本俸加俸、宿舍料

▽臨時手當

を合して三十圓以上の收入がある相當な入學志願者の資格は身體健全志操確實にして品行方正なる者高等女學校程度以上の學校を卒業したる者但し大正八年三月卒業の見込確實なる者は當該科高等女學校又は之ご同等以上の學校卒業者に準ず

▽年齡十六

年以上の者ごなつて居る尙ほ出願期日は二月十五日限りに付不明の點は同校（又は出身學校）に照會して貰ひ度いこの事

◎目も當られぬ爆藥心中

部屋の建具や天井壁は目茶々々に破壞

釜山鎮町二丁目花月事藤岡常代方抱へ娼妓艷名貴事浦田つね（三〇）は昨年八月敦賀し來り九龍浦にある時より馴染を重ね居たる原籍不詳三好萬六（三〇）こいふ漁夫こ

◆八回餘

の媾曳を爲し居たるが十日午前五時半頃ダイナマイトにて情死を遂げたり現場を見るに寢床の中にて萬六はダイナマイトに點火し女の右肩に差入れ爆發せるもの・如く萬六の

◆右手は

切斷され顏面創傷を負ひ殊に女は右手を飛ばされ右顎を削り取られ眼玉は飛び出したる儘兩人は部屋中を苦しみ廻り肉片は散亂し慘狀目も當てられず急報に接し脇原檢事、警察署長、醫師等出張し檢屍を遂げたるも如何こも手の著け樣無く萬六は九時五十分ツネは十時四十五分絶命したるが

◆合意の

心中らしく部屋の建具天井壁は目茶々々に破壞し居たり屍體は直に火葬に附したるが原因は多分痴情の果てなる可し（釜山特電）

◎マント詐欺

長崎縣南高來郡有南有馬村大字浦田當時釜山富平町三丁目車夫桂口長三郎（三二）は客臘二十六日夕富平町三丁目古物商藤原由太郎方に到り自分は安村警部の使なりこ詐はりメルトン地トンビ一著を[illegible]十八日富平町三丁目[illegible]方よりマント男羽織、袷、綿袢等百餘圓を詐取したるこご發覺し檢事局送りこなる

◎畜産博へ出品

來る三月十八日より東京に於て開會の畜産博覽會に市內本町啓元商會より下記品々を出品すべく目下調製中なりこ

虎、豹、狐、山猫、羚羊、栗鼠の毛皮▲羽帚類▲剝製大鷲

◎婦人の新年會

遞信局內有志婦人の新年會は十日午後一時より大和町遞信局職員小會所に於て催されたるが持地長官夫人、島田、佐々木、矢野各課長夫人を始め參會者三十八名あり蓄音器、筑前琵琶等の餘興及び持地夫人の談話あり歡を盡して散會せり

贅澤で經濟で、而して最も優良な
◎三百番香水

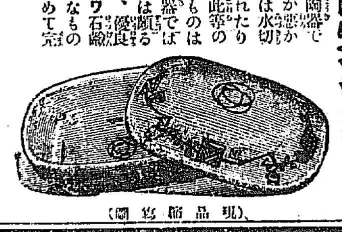
各種均一　小壜入五十錢　中壜入壹圓五十錢　大壜入貳圓五十錢　內地以外は郵稅七錢
（現品寫眞圖）

三百番香水は優雅な香で長い時間香を保つもので香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々新製を殖やさうこ云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一箱毎に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一般普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的こして居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてゐる。

ヴァイオレット（すみれ）
ローズ（ばら）
リリー（ゆり）
ムゲット（花の名）
ミモーサ（花の名）
ブーケー（花ばた）

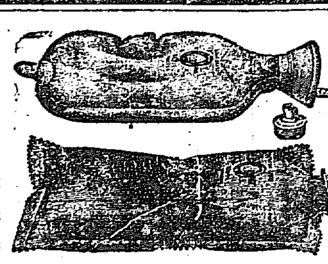
體裁優美高尚にして理想的の
◎ミツワ石鹸容器
定價　大形　金貳拾九錢　金壹拾[illegible]錢　內地以外は別稅　貨た加ふ

從來の石鹸容器は、大低金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生し、或は水切がよくない爲に、石鹸が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を考へて完全に製造されたものはミツワ石鹸容器であります。陶器ではあるが、品質は極めて堅牢體裁は頗る優美、以上の缺點は毫末も無く、優良無比の品質を具備してゐるミツワ石鹸の容器こしては最も理想的適當なもので、家庭用、浴室用こして、極めて完全優秀なものであります



（現品寫眞圖）

◎ミツワ水枕
新案特許――純護謨製　大宗田商店謹製
定價　大形　金壹圓貳拾[illegible]　中形　金壹圓[illegible]　小形　金八拾五錢　內地以外は一個[illegible]錢を加ふ
凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず



（特許部分寫眞）（大形寫眞）

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです――熱の爲に勉強して疲れた時なども水枕をすれば忽ち元氣回復します――其水枕の中でも特に完全な水枕はミツワ水枕であります。

◎ミツワ水枕は枕の内に隔壁を設け中へ氷水を入れるこ自然に凹形になるやうに製してあります。故に兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力が最も完全で、締金も又多年苦心の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります

贊化病院　京城明治町一丁目二番　內科 小兒科　入院隨意　施療す 毎日五名を限り　醫學博士 古城憲治　金澤醫學士 打田義芳

朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行　京城 南大門外 白神洋行支店　新田帶革　耐水調帶

百圓呈進 大阪 三休橋 阪北詰角 大阪 ひらく 商會

りんびょう ばいどく 藥 帝國醫科大學病院 本邦東京 各地

大阪有田 にせ物 にせドラッグあり 京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部 京城黃金町三丁目（分支店） 龍山漢江通電停留所（分支店） 釜山大廳町二丁目（分支店） 元山本町三丁目（分支店） 平壤橋町十二番地（分支店） 仁川宮町二丁目（分支店）

◎朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川其他各地ににせドラッグあり購買せられざる樣御注意を乞ふ

全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり 京城龍山其他各地に偽物有り御注意

大阪米相場電報 大阪株式特電

母と子（七十五）

北島春石作　森田久畫

椿事（二）

幸枝を連れて志保子が、仕立物を持つて植惣へ來たのは、もう六時に近い頃であつた。

晝間うつかり出歩き、知人にでも出逢つては一大事と思ふから、どんな急用があらうと隱れ家より一歩も踏出さず、要心の上にも猶油斷なく要心してゐるが、四圍が暮色につゝまれた頃になると、裏道づたひにこゝまで出かける事は今までにも二度三度。

『おかみさん、お在でなさいますか。』

その聲を聞きつけて、おいさは茶の間から顏を出した。

『おや、よくお出かけなさいましたね。お嬢樣、さあ、こつちへお上りなさいましよ。』

さう心易立てに勸められて、志保子は幸枝と共に縁先から上つた。

『今日は晝間から氣がくさ〳〵するので、夜になるのを待ちかね、お邪魔をしに伺ひましたよ。』

『ね、わたしも今日は朝から面白くないことばかり……ほんとに厭な日もあつたもんですね。』

『ぢや、貴女も何かございましたの。』

『何しろ、今朝起ぬけに裏の井戸へ行きますとね、二三日前にすげ直したばかりの下駄の鼻緒がプッツリ……おや、妙なことがあるものだと、その時は未だ何の氣もなく、元の勝手口へ戻らうとすると、頭の上をすれすれに二聲三聲、忌まはしい烏啼きを聞いたんですよ。その途端にぞうつと寒氣がしたと思つたら、多分は風邪でも引込んだのでせうが、自分でも驚くほど頭痛がしましてね。ほんとに、今日のやうな日は早く經つてしまへばいゝと、そんなに思つてゐたんですよ。』

相變らず元氣よくはしてゐるが、さう話があつた後に見較せば、おいさの顏色は冴えなかつた。

志保子もおなじやうな暗い顏付して、何ごとつかず溜息をついた。

『こんな取越苦勞をすると笑はれるか知れませんけれど……わたしは何だかこの娘と近々に別れるやうな氣がして、今朝から碌に御飯も咽喉へ通らないのです。』

『まさか、そんな事のあらう筈もありませんが……』と、おいさは強ひて元氣よく笑つて見せたが、すぐ打沈んだ調子で『ほんとに奥樣も御苦勞が絶えますまいと、わたしも女だけによくお察し申して居ります。』

『一匹狂へば千匹の駒までがと云ふ比喩もありますが、岸上の主人がふつと惡魔に魅はされたのが原因で、わたしも隨分苦勞を……いゝえ、今更愚痴がましいことを言ふ譯ではありませんけれど、この先いつまで恁うして、みなさんの御厄介になるのかと思ふと、たゞもうお氣の毒でなりません。』

『まあ、詰らないお氣遣ひをなすつたものですね。』と、おいさは志保子の言葉を打消した。

『何うせ、お世話と申すほどのことは出來ませんが、賤偶が御存知の通りの氣性ゆゑ、どんなことがあらうと、もう一度岸上のお邸へ戻れるやうにし、お親子の笑顏を見ない中は男の意地がたゝないと自分のことよりも氣を入れてますし、それにお隣の先生樣もついて被在るのですから、貴女は海のやうに廣い氣を持つてお在でなさいまし。』

『わたしもその氣では居りますけど……女は何うしても心の狹いもの、苦勞をしても仕方がないと思ひながら、詰らないことばかり考へられましてね。』

自分ながら何うかして、この暗い心を引立てやうと思ひながら、ともすれば話が理に落ちて、志保子は溜息につぐに又溜息。果ては慘ましくも涙含みまでした。

おいさも慰めの言葉がつきて、唯まじ〳〵と志保子の顏を見入つた。

『御免ください、ちよつとお伺ひいたしますが……』

だしぬけに呼びかけられて、おいさが愕然としながら、

『誰方？』と、逃げる間もなき親子を蔽ふやうにし、もうすつかり宵暗につゝまれた庭先を見透すと、自動車の運轉手らしい男が、帽子を脫いだり冠つたり。

『ねえ、こちらは確かその、植惣さんと被仰いましたね。』

古本買受 御報參上　京城明治町通り　野村書店　電話二〇五〇

故鈴木校長弔慰及奬學資金寄贈芳名

（第二十四回つゞき）

一金壹圓西村學三▲田中卯治▲一金一圓奥川惣次▲一金一圓石[illegible]十錢池永萬太郎▲同橋本五郎▲佐藤正一▲一金一圓竹內太郎▲同今榮宇吉▲同渡邊ユク▲平井鐵雄▲同山下坂次郎▲同倉內正助▲同阿部安吉良▲一金十五圓早崎源吾▲一金五圓山下秀太郎▲一金一圓河內山榮▲一金五十錢白公庄吉▲一金二圓宮本順藏▲一金三圓今井延太郎▲一金七十五錢新木秀三▲一金五十錢中坂代太郎▲一金五十錢西野幹同▲一金二十五錢成澤德成▲一金二十五錢高木庄郎▲一金五十錢金德壽雄▲一金一圓松澤學之進▲一金二十五錢平山榮作▲一金十錢山本信▲一金五十錢山川治太郎▲一金二十五錢森田國太郎▲同伊藤金太郎▲齋藤さみ▲河合幸八▲同關口末吉▲同梅野口あさ子▲齋藤宇太郎▲同田助治▲同當岡辰五郎▲同山田長松▲一金五十錢川口辰次郎▲一金五十錢山村幸次郎▲一金十二錢五厘日高貞治▲一金十五錢水上彌三郎▲一金二十五錢森ハル▲一金一圓岡本宇之助▲一金二十五錢岩井末吉▲一金十五錢上田助松▲一金二十五錢中西松藏▲同河合圓市▲同山本平次▲同森野愼一▲同木下金藏▲同木部欽吾▲一金五圓中桐鐵工所▲一金五十錢山本萬藏▲一金二十五錢岡田惣作▲一金二十五錢野村忠勝▲一金五圓木原猪之丞▲一金五十錢外智國三▲一金五圓鈴木賀雄▲一金一圓田川格▲一金二圓富田貢之助▲一金一圓村田郁一▲一金五十錢東野勸▲一金十五錢加藤六三郎▲望月勉外一三五人分合計金一百四十三圓二十五錢五厘

小計金百九十七圓九十二錢五厘

累計金五千五百拾參圓五十五錢也

同（第二十五回）

▲金貳圓荻野寅吉▲金壹圓阿腰十▲金壹圓李永花▲金五拾錢坂口孝▲金五圓上林敬次郎▲金壹圓朴長喆▲金貳圓三田普喜▲金壹圓山野眞雄▲金壹圓三木進一郎▲金壹圓津村哲四郎▲金壹圓小泉昇平▲金五拾錢緒方益吉▲金五拾錢田中吉▲金參拾錢金成吉次▲金同松本三仲▲金同石橋勇士▲金五拾錢川中吉太郎▲金參拾錢山本準佐久▲金同細川剛毅▲金五拾錢湯原平▲金五拾錢樋口勇▲金五拾錢田利雄▲金五拾錢宮村安太▲金拾錢態崎兵七▲金同青田辯藏▲金同西原操▲金武十錢安坂鋼▲金錢井本麟太郎▲金參拾錢家入傳一▲金壹圓木山學一▲金壹圓森新助▲金壹圓井上圓平▲金參拾錢竹內吉▲金四圓京城公立普通學校職員▲金壹圓横山長次郎▲金一圓中▲金五拾錢北島ヒデ▲藤謙一郎▲金五拾錢佐原拾圓煉瓦工場某▲金五圓上田太郎▲金三圓齋藤三四郎▲金五圓上田井一義▲金三圓矢島初ゑ▲金五圓太郎▲金三圓魚座禮吉▲金二圓青野義八郎▲金三圓技本貞吉▲金二圓和泉シゲ▲金二圓潮浦潔▲金五圓林管吉▲金五圓石和田正則▲金三圓田所馬次▲金二圓若林平助

金三圓　金浦公立普通學校職員一同

金二圓　金浦公立普通校上級生一同

金二圓　傳川公立普通學校職員一同

金拾圓　元山公立實科高等女學校　元山公立尋常高等小學校職員一同

金三圓　咸昌公立普通學校職員一同

金五圓　釜山第五公立尋常小學校職員一同

金三圓　上野弘一

金三圓五十錢　平壤公立農業學校職員一同

金三圓　富平公立普通學校職員一同

金三圓　青山公立普通學校職員一同

金三圓　永興公立普通學校職員一同

金一圓二拾錢

皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
京城明治町二丁目（元町）　佐藤醫院　電話一一七三番
日曜祭日午後二時迄

金三圓　永興公立簡易農業學校職員一同

金二圓　磯泉公立普通學校職員一同

金二圓　泰天東拓支店　小川修平

金七圓　平壤女子高等普通學校職員一同

金拾圓　平壤監獄職員一同

▲金五圓完卷幹治▲金一圓菊池芳彦▲金拾錢崔一季▲金一圓深江熊藏▲金五十錢李炳淑▲金五十錢鮮于淑▲金五十錢禹錫爺▲金五十錢鮮于梧

金一圓五十錢　咸山公立尋常小學校職員生徒一同

金五十錢　內藤龍平

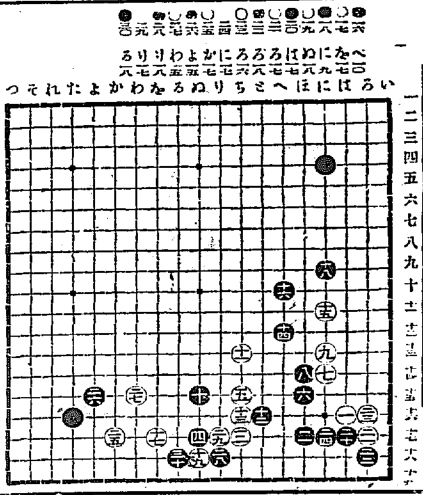
金一圓　忠北延豐公立普通學校職員

金一圓　酒井ツネ

（以下次號）

棊戰（二）

三段　山平
二子　白南圭



新刊紹介

▲露西亞文明記（今非政吉著）露西亞に三年半ほど滯在して露西亞を親しく研究した著者がロシアの現狀な說き歴史地理を說き其雜たる社會狀態や氣候風俗等を細々と說いた趣味の多い本である（一圓七十五錢、東京神田表神保町大同館）

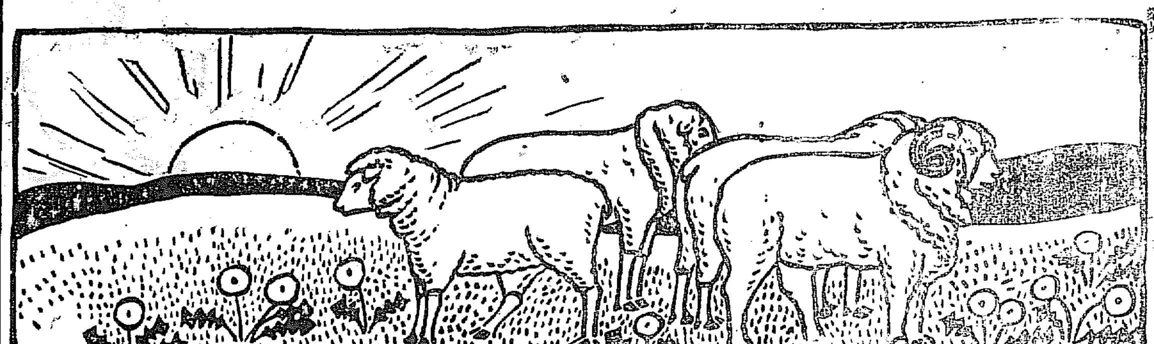
▲日蓮記（所彼稔懿）日蓮聖人の傳記を南窓の快筆で面白く讀んだ好き五百ページ近き長講である（四十八錢、東京本橋區本町博文館）

▲朝鮮鑛業會誌（一ノ一）朝鮮鑛業界の雜誌なり（四十錢、京城南米倉町朝鮮鑛業界）

海洋運賃軟弱

英國の輸入制限並に[illegible]制限緩和に依り[illegible]運賃を一噸に付三十弗に引下げ[illegible]航路に就かしめ[illegible]國政府は既に義勇艦隊を開放し彼せり又近海方面は香港砂糖米も最早見ざる有樣にて

▲運賃益々軟弱に傾き[illegible]一圓十錢△大連[illegible]六十錢△西貢神戸米一圓八十錢△西貢神戸砂糖一圓八十錢△大[illegible]の傭船は愈々全部の返還を受くることに決定し傭船二十五日以來[illegible]省を撤し且つ船型に依りて之を何れの航路に使用すべきか等大體決定し[illegible]の引渡しを受くべき場所を指[illegible]其他の上船次本邦に向けて[illegible]る手當也（東京）



ライオン齒磨

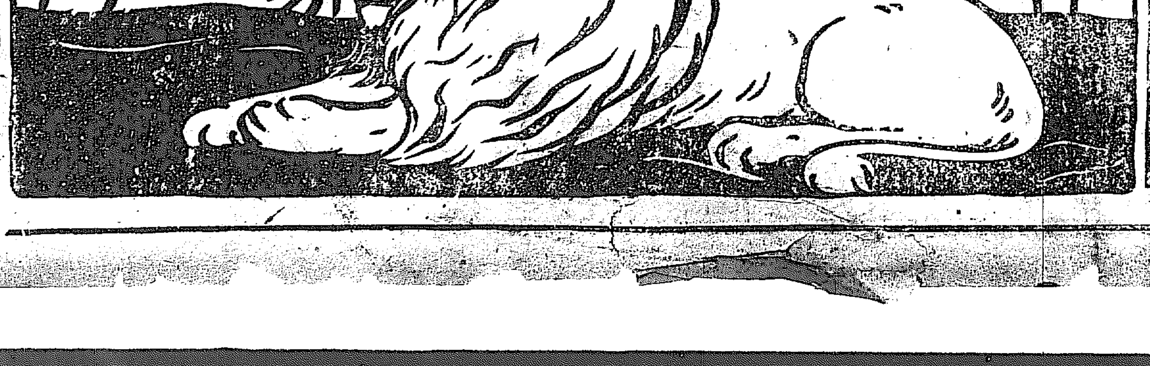
茲に光輝ある新年を迎へて大方各位の御清福を奉祈候

舊年中は深大の御同情をたまはり或は時勢に應ずる內部組織の變更或は支那印度南洋シベリヤ各方面に於ける銷路の擴張或は工場內の新設備或は試驗所に於ける有力なる技師學士の增聘等悉く成功して（ライオン齒磨 ライオン石鹸）各種製品共愈向上發展を加へ日に月に世界の信用を高め候次第感激至極に奉存候　頓首再拜

大正八年一月元旦

ライオン齒磨本舖
株式會社 小林商店
取締役社長 小林富次郎

本舖 東京市本所區外手町
支舖 大阪市東區博勞町二丁目
地方倉庫 名古屋市桑名町四丁目



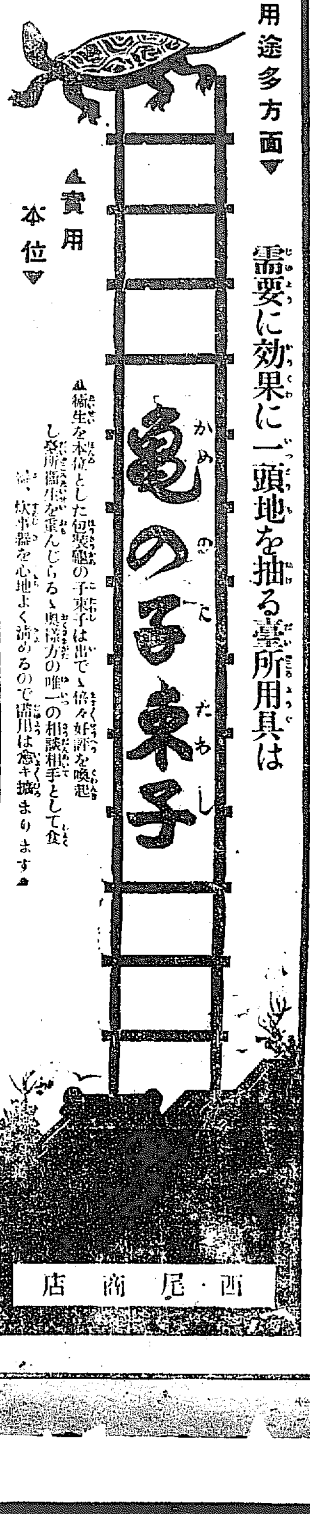
▲用途多方面▼　▲實用本位▼

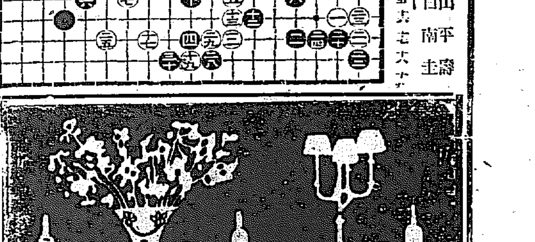
需要に効果に一頭地を抽る臺所用具は

亀の子束子

▲衛生を本位とした包裝龜の子束子は出でゝ倍々好評を喚起し臺所衛生を重んじらるゝ奥樣方の唯一の相談相手として食器、炊事器を心地よく淸めるので需用は愈々撚まります▲

西尾商店





內外國の博覽會又は共進會に於て常に名譽最高金銀賞牌を獲得しつゝある純國産の優等生葡萄酒は

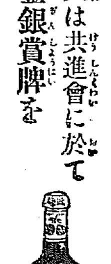
牛久赤白葡萄酒

である!!

高貴御料として專ら貴顯紳士間に愛用されつゝあり

東京本町　株式會社　近藤利兵衛

本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良生葡萄の實より搾取せるまゝの純正生葡萄酒に最も優秀なり且つ舶來品の如く運賃關稅等の諸費なきため價格頗る低廉なり



資本金六百萬圓
積立金 操越金 金百貳拾五萬圓

株式會社 十八銀行京城支店　京城府南大門通二丁目 電話四〇八番 振替貯金口座京城八四番

同 新龍山支店　京城府漢江通り拾參番地 電話九五〇番

同 龍山出張所　京城府元町二丁目 電話一八番

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

産科 婦人科　醫學士 二宮亮吉　二宮醫院　京城[illegible]町 電話一二〇一番